

その他の小売業における死亡災害事例（1999-2020年）

年	月	発生時	死亡災害事例	起因物 (小)	事故の 型	労働者 規模
1999	1	10 ～ 11	事業場の屋外トイレの入口タイル部分で額に傷を受け、病院に行っているうちに容態が悪化し、脳挫傷のため死亡した。	418	2	10 ～ 29
1999	2	0 ～ 1	ミニバイクでピザを宅配中、警報機も遮断機も付いていない第4種踏切りで臨時列車にはねられた。	232	18	10 ～ 29
1999	2	7 ～ 8	呉服の展示会に行くため4tトラックで国道を走行中、トンネル内の左カーブで対向の10tトラックが道路凍結のためスリップして中央線をはみだしてきて正面衝突した。	221	17	10 ～ 29
1999	3	7 ～ 8	会社の同僚が運転する乗用車で会議に向かう途中、国道において車が凍結のためスリップして対向車線に進入し、対向の車と正面衝突した。	231	17	1～ 9
1999	1	19 ～ 20	店の閉鎖に伴う商品の撤去作業を終て自家用車で帰宅途中、高速道路でスリップして追い越し車線と走行車線の間で停止したところへ後続の車輛が衝突した。	231	17	1～ 9
1999	3	13 ～ 14	乗用車に同僚を乗せ顧客訪問・販売・集金の途中、トンネル内の路面に油のようなものが浮いていたため運転操作を誤り、反対車線にはみ出して、トラックと正面衝突した。	231	17	1～ 9
		17	販売用機器のデモンストレーションを行うため同僚と共に乗用車で走行			10

1999	2	～ 18	中、カーブでの運転を誤り道路左端の縁石に衝突し、さらにセンターラインを超えて対向の車両と激突した。	231	17	～ 29
1999	2	17 ～ 18	販売用機器のデモンストレーションを行うため同僚と共に乗用車で走行 中、カーブでの運転を誤り道路左端の縁石に衝突し、さらにセンターラインを超えて対向の車両と激突した。	231	17	10 ～ 29
1999	4	11 ～ 12	軽自動車を運転して走行中、片側一車線から二車線に変わる場所で、左側路肩に駐車していた4tトラックの右側後部に追突した。	231	17	10 ～ 29
1999	4	10 ～ 11	ショベルローダーで鉄筋をトラックの荷台に積載し、トラックの荷台から地上に降りたときに、ショベルローダーが前進してきて、トラックの荷台とショベルローダーのバケットとの間に挟まれた。	225	7	0
1999	4	14 ～ 15	営業のため軽ワゴン車で走行中、交差点を直進したところに左側より走行してきた普通ワゴン車が衝突した。	231	17	1～ 9
1999	5	11 ～ 12	祭に出店するためオートバイで国道を走行中、左のゆるいカーブを曲がり切れずに対向車線にはみ出し、走行してきたバスと衝突した。	239	17	1～ 9
1999	3	11 ～ 12	倉庫内2階において、製品を荷揚装置の搬器に積み込んでいたとき、高さ4.33メートルの搬器の端から1階に墜落した。	219	1	10 ～ 29
1999	1	13 ～ 14	古紙回収業の作業所兼倉庫において、プレス済みのダンボール紙をフォークリフトで運搬中、ダンボール紙を運び入れるために来ていた食料品店の労働者をフォークリフトの荷の下に巻き込んだ。	222	7	1～ 9
1999	6	22 ～ 23	ピザ配達のため、バイクで県道を走行中、センターラインを越えて対向車線に飛び出し、走行してきた乗用車と正面衝突した。	231	17	10 ～ 29
		16	軽ワゴン車で店に戻るため国道を走行中、緩い左カーブにさしかかったと			1～

1999	6	17	～	ころセンターラインを超えて対向車線にはみ出し、対向の路線バスと正面衝突した。	221	17	9
1999	6	14	～	被災者は、屋外作業場で農業用トラクターのエンジンが始動しなかったの で、フォークリフトのバッテリーから直接セルモーターの端子にリード線 を接続したところ、エンジンが始動したが、後退ギアに入っていたため後 退したトラクターに巻き込まれた。	169	6	1～ 9
1999	6	15	～	トレーラー後輪外側のタイヤの空気圧が低かったため、空気圧縮機の圧力 を8. 2kにセットしてタイヤへ空気を充てん中、ホイールが破れて吹き飛 び、近くにいた者に当たった。	521	15	10 ～ 29
1999	9	17	～	取引先倉庫2階で、天井クレーン(吊り上げ荷重2t)とこれに吊ってある鉄製 ボックスを使用して荷を1階から2階に運搬する作業の準備をしていたとき に、荷揚げ用の開口部(1. 3m×1. 3m)から3. 7m下の1階床に転落した。	414	1	1～ 9
1999	9	20	～	住宅リフォームの営業活動を行い、道路の向い側にある集合場所へ急いで 行くため国道を徒歩で横断中、走行してきた乗用車にはねられた。	231	17	30 ～ 49
1999	10	11	～	ケーブルクレーンのワイヤー(重量約0. 5t)を移動式クレーン(吊上げ荷重 4. 9t)で吊上げて右旋回中に、右前アウトリガーが敷角からはずれたた め、移動式クレーンが前方に滑り落ち、移動式クレーンとその前方にあっ たユニック車の間にいた者が挟まれた。	212	7	10 ～ 29
1999	10	11	～	弁当配達のため軽自動車で行中、事業場前の国道を横断右折しようとし て、走行してきたバイクと衝突した。	231	17	1～ 9
1999	9	16	～	社車で営業後帰社するために走行中、前方トラックのブレーキに気が付 くのが遅れて追突した。	231	17	10 ～ 29
1999	10	20	～	移動式クレーン(つり上げ荷重2. 63t)を使用して、冷蔵庫(重さ100kg)を2 階駐車場から吹き抜けを通して1階へ降ろす作業中、2階駐車場に居た合図	418	1	1～ 9

		21	者が手すり(高さ100cm)を乗り越え4. 5m下に墜落した。			
1999	12	19 ～ 20	営業所に戻るためトラックで走行中、路肩に停車していた凍結防止剤散布用大型車に衝突した。	221	17	1～ 9
1999	12	7 ～ 8	漁港で魚の買い付けを行い会社の車で県道を走行中、道路左側の電柱に衝突した。	231	17	1～ 9
1999	11	8 ～ 9	会社のバンに乗って仕入先に向かう途中、ハンドル操作を誤って対向車と衝突した。	231	17	100 ～ 299
1999	12	3 ～ 4	マンションの牛乳配達を終え自分の車のところへ戻ったところに、大型トラックが突っ込んできてはね飛ばされた。	221	17	1～ 9
1999	3	11 ～ 12	軽トラックで走行中、対向車線にはみ出して、走行中のトラックと激突した。	221	17	10 ～ 29
1999	10	8 ～ 9	牛乳配達で市道の横断歩道を渡っていたとき、左方から来た普通貨物車にはねられた。	221	17	10 ～ 29
2000	2	8 ～ 9	携帯電話の販売員が応援のため自宅から社用車(リース)で走行中、乗用車を追越して元の車線に戻ったときに、センターラインを越えて来た乗用車と正面衝突した。	231	17	100 ～ 299
2000	8	11 ～ 12	トラックで走行中、右折するため一時停止した10tダンプを避けようとして対向車線に出たときに、対向の3t保冷車と正面衝突し、その衝撃で横滑りしてさらに約8m後方の乗用車と衝突した。	221	17	1～ 9
2000	9	10 ～	事務用品等の納品で走行中、緩いカーブで路面が濡れた状態であったため対向車線にはみ出し、対向の4tトラックと衝突した。	231	17	1～ 9

		11				
2000	12	11 ～ 12	営業のため社用車で走行中、吹雪きのため運転を誤って対向車線に進出し、対向のダンプトラックと正面衝突した。	231	17	10 ～ 29
2000	1	10 ～ 11	無人のコイン精米機に溜まった糠を取り除くよう依頼を受け、単独で無人精米所へ向かったが、糠タンクと道路の間にある地面より1メートル程水面が下にあるコンクリート製の側溝内に倒れているのを無人精米所へ来た客が発見した。	418	1	1～ 9
2000	6	16 ～ 17	納品を終え貨物自動車で行中、国道を右折していたところへ後続の移動式クレーン車がブレーキが利かなくなったために交差点へ進入してきて衝突し、貨物自動車、移動式クレーン車とも道路下4メートルの水田に転落した。	212	17	10 ～ 29
2000	1	17 ～ 18	乗用車の運転席から下車しようとしてドアを開けたところ、20メートル近い強風に煽られてドアが開いたので、ドアを内側に押さえようとしたときに、車が前進して前方右側にあったコンクリート製電柱に開いたドアが接触したため、車体とドアとの間に挟まれた。	231	7	1～ 9
2000	1	0 ～ 1	軽トラックでの配達を終え青信号で町道から国道を横断しようとして交差点内に入った時に赤信号を見落として交差点に進入してきたマイクロバスに左側面から衝突された。	231	17	1～ 9
2000	4	15 ～ 16	お茶の配達のため、軽ワゴン車で県道を走行中、緩いカーブでセンターラインをオーバーしてきたトラックと正面衝突した。	231	17	30 ～ 49
2000	1	14 ～ 15	コンクリートブロック(重量15kg)80個を納品するため、道路上で、2.95tのトラッククレーンを用いて、荷台からパレットに積んだまま降ろそうとしたときに、トラッククレーンが横転し、運転席ドアと土留め壁の間に挟まれた。	212	2	10 ～ 29
		22	商談中、居直り強盗に手足を縛られ、ガソリンをかけられて放火され6名が			1～

2000	6	～ 23	焼死した。	512	16	9
2000	6	22 ～ 23	商談中、居直り強盗に手足を縛られ、ガソリンをかけられて放火され6名が焼死した。	512	16	1～ 9
2000	6	22 ～ 23	商談中、居直り強盗に手足を縛られ、ガソリンをかけられて放火され6名が焼死した。	512	16	1～ 9
2000	6	22 ～ 23	商談中、居直り強盗に手足を縛られ、ガソリンをかけられて放火され6名が焼死した。	512	16	1～ 9
2000	6	22 ～ 23	商談中、居直り強盗に手足を縛られ、ガソリンをかけられて放火され6名が焼死した。	512	16	1～ 9
2000	6	22 ～ 23	商談中、居直り強盗に手足を縛られ、ガソリンをかけられて放火され6名が焼死した。	512	16	1～ 9
2000	6	22 ～ 23	商談中、居直り強盗に手足を縛られ、ガソリンをかけられて放火され6名が焼死した。	512	16	1～ 9
2000	12	23 ～ 24	クリスマス商戦の打ち合わせのために自動車で走行中、民家の塀に衝突した。	231	17	10 ～ 29
2000	3	14 ～ 15	普通トラックで国道の下り坂の左カーブを走行中、カーブを曲がりきれずに対向車線にはみ出し、対向の大型トラックと正面衝突した。	221	17	10 ～ 29
2000	12	19 ～ 20	自動二輪車を購入者宅納車し、バイクに2人乗りして帰社途中、交差点で道路を横切ろうとした乗用車と衝突した。	231	17	10 ～ 29
		18	木材のプレカット工場において、荷物の積み込みのため待機中に、前の車			1～

2000	11	～	両の積み込み作業を手伝っていてトラックの荷台より墜落し、地面にあつた木材で頭部を打った。	221	1	9
2000	12	11 ～ 12	納品に行くため営業車で走行中、対向車線から無理な追い越しをかけてセンターラインを越えてきた車と正面衝突した。	231	17	30 ～ 49
2000	6	14 ～ 15	設計打合に出席するため、会社近くの駅から電車、ホームに行ったときに線路上に転落し、電車にひかれた。	232	18	50 ～ 99
2000	7	22 ～ 23	乗用車で走行中、町道交差点で右側から来た酒気帯び運転の乗用車と衝突した。	231	17	50 ～ 99
2000	7	9 ～ 10	自動車で本社から営業所へカタログ版下を届けて本社に戻る途中に、前方からきた普通乗用車にはねられた。	231	17	50 ～ 99
2000	10	16 ～ 17	オートバイの試運転業務で一般道路を走行中、信号のある交差点で右折してきた対向車両と衝突した。	231	17	1～ 9
2000	7	11 ～ 12	普通貨物自動車にダンボール古紙を積んで走行中、赤信号のため信号待ちをしていた普通貨物自動車に激突した。	221	17	10 ～ 29
2000	7	11 ～ 12	普通貨物自動車にダンボール古紙を積んで走行中、赤信号のため信号待ちをしていた普通貨物自動車に激突した。	221	17	10 ～ 29
2000	10	13 ～ 14	配達先で車を止めて車から離れたところ、サイドブレーキのききがあまりく車が動き始めたためあわてて車両に飛び乗ったが、車のドアにふられて転落した。	221	1	10 ～ 29
		16	トラックの荷台からU字溝を降ろす準備をされていて、荷台(高さ・約1m)か			50

2000	10	～ 17	ら足を滑らせて墜落した。	221	1	～ 99
2000	6	18 ～ 19	倉庫内において、冷蔵庫及び冷凍庫の上に付着したハトの糞を取り除くため、冷蔵庫の上に登り(高さ2. 45m)バールで糞を除去しているときに墜落した。	391	1	10 ～ 29
2000	5	17 ～ 18	寿司桶を回収するためバイクで走行中、信号の無い交差点で通過中の2tトラックの側面中央部に激突した。	231	17	1～ 9
2000	7	16 ～ 17	食品販売に伴う配達業務を終え軽四自動車で行中、道路端に駐車していたトラックに追突した。	231	17	100 ～ 299
2000	2	0 ～ 1	客先に集金に行くため軽貨物自動車で行中、交差点において交差する道路を走行してきた14tトラックと出会い頭に衝突した。	221	17	1～ 9
2000	6	19 ～ 20	保冷車で高速道路を走行中、追越車線でスリップして横向きに止まっていた乗用車の手前で4tトラックが停車していたので保冷車も停車したが、後方から走行してきた10tトラックに追突された。	221	17	10 ～ 29
2000	2	13 ～ 14	新造船内部のガス配管工事を行うため、公共岸壁とデッキとの間に架けられていた木製歩み板(長さ250cm、幅19. 5cm、厚さ3. 5cm)上を歩いて渡る途中で海中に転落し、その直後に船体が波に寄せられて船体と岸壁との間に挟まれた。	416	1	10 ～ 29
2000	4	11 ～ 12	同僚と2人で客先へ向かうため車で走行中、信号の無い交差点で右方向より進入してきたトレーラーと衝突した。	231	17	1～ 9
2000	8	23 ～ 24	塩乾物の保管を委託している事業場で同僚のトラックを待っていて、トラックが到着したので作業に使用するフォークリフトに向かって歩いていたときに敷地内でスイッチバックしてきた同トラックにひかれた。	221	7	30 ～ 49

2000	10	11 ～ 12	11 糶摺り機を客先に納品するため、フォークリフトを運転し商品を積んだト ～ ラックの先導をしながら市道を走行中、フォークリフトごと道路左側の田 12 圃に転落した。	222	17	1～ 9
2000	10	17 ～ 18	17 2階建民家の1階屋上から、解体したソーラーパネル(約60kg)を2. 5t吊りト ～ ラッククレーンで吊り降ろす作業中に強風が吹いてパネルが揺れ、パネル 18 に弾き飛ばされて屋上端より地面に墜落した。	415	1	10 ～ 29
2000	12	17 ～ 18	17 トラックで走行中、道路の真中で停止している車に気付くのが遅れて急ブ ～ レーキを踏んだためスリップして、運転席が中央線からはみ出たところへ 18 車が直進してきて衝突した。	221	17	30 ～ 49
2000	12	21 ～ 22	21 スーパーで仕事を終え自動車道を走行中、法面に乗り上げ横転した。 22	231	17	1～ 9
2000	1	22 ～ 23	22 ピザの配達のためミニバイク(50CC三輪)で県道を走行中、右折したときに ～ 直進してきた普通乗用車と衝突し転倒した。 23	239	17	10 ～ 29
2000	8	10 ～ 11	10 客より牛乳が届いていないとの連絡を受け軽自動車で配達するため国道を ～ 走行中、中央線をはみ出して対向の普通トラックと衝突した。 11	221	17	1～ 9
2000	2	4 ～ 5	4 技術研修参加のため乗用車で国道を走行中カーブで対向のトラック(11t)と ～ 衝突した。 5	221	17	1～ 9
2000	12	14 ～ 15	14 訪問先に持っていく資料を取りに自宅に寄り軽ライトバンに積み込んだと ～ ころ、サイドブレーキをかけずに駐車していたために軽ライトバンが動き 15 出したので、止めようとして軽ライトバンとブロック塀との間に挟まれ た。	231	17	1～ 9
2000	5	0 ～	0 ショッピングセンター内の惣菜店において、店長がアルバイトの店員に対 ～ し作業手順の誤りを指摘したところ、突然近くにあった包丁で胸や腹を刺	921	90	50 ～

		1	された。			99
2000	10	11 ～ 12	荷物用リフトが1階と2階の途中で停止していたので不信に思った同僚が倉庫2階に行ったところ、荷物用リフトの搬器上枠と2階床面に首を挟まれて倒れていた。	214	7	10 ～ 29
2001	1	5 ～ 6	白菜の収穫に行くため会社の乗用車で走行中、雪で凍結した路面でタイヤが滑り、半回転して助手席のドア部分が反対側車線のガイドロープの支柱に激突した。(助手席の者が死亡、運転者と後部座席の2名が軽傷)	231	17	10 ～ 29
2001	2	10 ～ 11	トラックで国道を走行中、前方の追突事故を発見して停車していたトラックに追突した。	231	17	1～ 9
2001	1	11 ～ 12	店で企画した試乗会及び説明会において、スノーボードでジャンプ台を滑ったところ、空中でバランスを崩し肩から墜落し頭部を強打した。	416	1	1～ 9
2001	1	15 ～ 16	商店の2階の屋根に雪がつもり水漏れとなったため、雪かきをしようと梯子で2階の屋根に登り墜落した。	415	1	1～ 9
2001	2	19 ～ 20	自社資材置場から事務所に戻るため国道上を歩行中、事務所手前で後方から走行してきた普通貨物自動車にひかれた。	231	17	1～ 9
2001	3	14 ～ 15	資材置場で「人」の字形に立てかけて置いてあった12枚1束の石板(一枚250kg)を1枚引き抜こうとしたときに、石板が次々に倒れ24枚の石板の下敷きになった。	523	5	1～ 9
2001	3	13 ～ 14	小型移動式クレーンを使用して培養土をトラックに積み込んでいたが、過荷重のためクレーンが横転し、クレーンに平行して止めてあったトラックとの間に挟まれた。	212	6	1～ 9
2001	2	0 ～	倉庫において、フォークリフトのアタッチメント(ロールクランプ仕様)を上昇させてマストの奥にあるリフト昇降用油圧ホースのバルブ調整を行っ	222	7	10 ～

		1	ていたところ、油圧オイルが吹き出したため下降してきたアタッチメント(自重：0.57t)と地面との間に挟まれた。			29
2001	5	0 ～ 1	顧客先から乗用車で走行中、道路左側の端の欄干にぶつかった弾みで対向車線にはみ出し、対向の乗用車と衝突した。	231	17	10 ～ 29
2001	5	15 ～ 16	個人住宅のガスメーターを移設するため、深さ1mの穴を掘り、その中に入って90cmの深さにあるガス供給用の鋳鉄管を切断してガスメーター用の配管を取り付けようとしていたとき、ガスを遮断していなかったためLPGが吹き出し酸素欠乏状態になった。	519	12	10 ～ 29
2001	5	13 ～ 14	天井裏に置かれていたダンボールを取りに行き、天井裏石膏ボードを踏み抜いて4.2m下の1階コンクリート床面に墜落した。	418	1	1～ 9
2001	5	22 ～ 23	商談を終えワゴンに同乗し高速道を走行中、対向車線から右折しようとした乗用車と衝突し、後部座席から車外に放り出されて全身を強打した。	231	17	10 ～ 29
2001	6	16 ～ 17	出先から本社へ帰るため乗用車で走行中、道路から転落し水死した。	231	17	10 ～ 29
2001	5	23 ～ 24	顧客に商品の説明に行き車で帰る途中、スノーシェルター入口のコンクリート壁に激突した。	231	17	1～ 9
2001	6	16 ～ 17	客先での業務を終え軽自動車でも国道を走行中、センターラインをオーバーして、対向の大型貨物車両と正面衝突した。	231	17	1～ 9
2001	8	11 ～ 12	ライトバンで銀行に行った帰りに、対向車線にはみ出しダンプカーと正面衝突した。	231	17	1～ 9

2001	8	0 ～ 1	ミニバイクで宅配用釜飯を届ける途中、市道交差点において軽自動車と衝突した。	231	17	1～ 9
2001	8	20 ～ 21	営業活動を終えて2人で軽乗用車で走行中、対向の乗用車がセンターラインをはみ出してきて正面衝突となり、2名とも死亡した。	231	17	1～ 9
2001	8	20 ～ 21	営業活動を終えて2人で軽乗用車で走行中、対向の乗用車がセンターラインをはみ出してきて正面衝突となり、2名とも死亡した。	231	17	1～ 9
2001	2	13 ～ 14	コンビニエンスストア内において、携帯端末機械を用いて菓子の発注を行っていたときに後方に転倒し、床面で後頭部を強打した。	416	2	10 ～ 29
2001	8	9 ～ 10	トラックで運搬してきた重さ約1tの大根洗浄機を設置場所へフォークリフトで移動しているときに洗浄機が既設の機械設備に接触してフォークから落下し、フォークリフトの誘導を行っていた者が下敷きになった。	222	4	1～ 9
2001	8	7 ～ 8	境内廻廊内の舞楽のライトアップ設備の撤去作業中に、バランスを崩して脚立(2m)から床に転落し頭部を強打した。	371	1	1～ 9
2001	9	11 ～ 12	自動車学校の敷地内で教習車を牽引移動の準備中に、フォークリフトがバックしてきて教習車とフォークリフトとの間に挟まれた。	222	7	1～ 9
2001	10	16 ～ 17	狂牛病による販売不振対策のため販売協力業者とともに大手販売店の狂牛病対策の状況を見学して帰る途中、対向のトレーラー荷台に立ててあった鉄柱が落下して激突した。	231	17	1～ 9
2001	10	9 ～ 10	販売した床暖房の設置のため軽トラックで走行中、横切るため交差点で停車したところ、前の車が交通量が多く横断出来ないため歩行者用の押しボタンを押して信号が変わってから横断し続けて横断したときに走行して来	231	17	1～ 9

			た軽自動車に追突されて横転した。			
2001	10	20 ～ 21	魚の仕入れに向かうためトラックで国道を走行中、前方を走行していた農耕車に衝突し、反対車線に横転した。	221	17	1～ 9
2001	8	8 ～ 9	商品の配送で国道を走行中、道路建設工事現場へ向かう普通トラック(ラインマーカー車)と正面衝突した。	239	17	1～ 9
2001	11	17 ～ 18	工事現場での営業を終え国道を走行中、信号機の無い交差点でトラックと出会い頭に衝突した。	231	17	1～ 9
2001	10	11 ～ 12	車で高速道路を走行中、右後輪がパンクしたため車が回転しながら横転し、運転席から反対車線に投げ出されたところへ走行してきた自動車にはねられた。	231	17	1～ 9
2001	12	11 ～ 12	中学校に美術教材を配達するため軽四トラックで県道を走行中、センターラインを越え対向のトラックと正面衝突した。	221	17	1～ 9
2001	10	22 ～ 23	客先でのガラス修理作業を終え軽トラックで走行中、対向の普通乗用車がセンターラインを越えてきて正面衝突した。	231	17	1～ 9
2001	11	10 ～ 11	戒名彫りの注文を受けた墓を確認するため軽ワゴン車で直接墓のある墓地へ行き、そこから帰る途中、踏切で列車と衝突した。	232	17	1～ 9
2001	11	11 ～ 12	ライトバンで国道を走行中、交差点の信号が赤になったため停止した前方の車に激突した。	231	17	100 ～ 299
2001	11	7 ～	得意先へ商品のPRに向かうため自宅から社有車で走行中、中央分離帯脇にある側溝に右車輪をとられて前方にあった溜め桧に乗り上げ車が横転し、	231	17	30 ～

		8	はずみで車外へ放り出された。			49
2001	12	0 ～ 1	商品配達のためトラックで国道を走行中、右折するため停車したときに後続のトラックに衝突されて反対車線に押し出され、対向のトラックに側面衝突された。	239	17	50 ～ 99
2001	11	11 ～ 12	葬儀場から造花を回収して軽トラックで走行中、センターラインを越えて反対車線に飛び出し、対向のトラックと衝突した。	221	17	1～ 9
2002	1	8 ～ 9	4.5tトラックでパレット3枚を運び、それを降ろすためフォークリフトでパレットを挟んで後退しようとしたところ、フォークリフトがバランスをくずし横転し運転者が下敷きになった。	222	2	50 ～ 99
2002	2	10 ～ 11	茶畑の防霜ファン修理のため、鉄柱に登って防霜ファンを取外中に約7m下に墜落した。	418	1	1～ 9
2002	3	9 ～ 10	医療用機械の販売を行うため社用車で国道を走行中、前方の乗用車を追い越しして車線に戻ったときに、前方で右折するため徐行していた除雪車に追突した。	231	17	10 ～ 29
2002	2	20 ～ 21	閉店後に当日の売上代金を夜間金庫へ投函するためバイクで移動中、道路の中央分離帯に接触し転倒した。	231	17	1～ 9
2002	3	16 ～ 17	福祉施設の新築工事で、屋根材（木毛板、1枚60kg）の荷（12枚、720kg）を屋根に上げる作業中、吊った荷のナイロンスリングが荷にビニールカバーが被せてあったため滑って荷がスリングから抜けて落下し、2名のうち1名が死亡した。	611	4	30 ～ 49
2002	11	11 ～ 12	店舗の向側にある銀行へ向かうため国道を徒歩で横断中、左方向から来た普通貨物自動車に跳ねられた。	221	17	1～ 9
		18	車で信号待ちをしていたところへ後からきた乗用車に追突され、衝撃で車			10

2002	3	～ 19	が炎上した。	231	17	～ 29
2002	9	14 ～ 15	得意先を訪問して軽トラックで事業場へ帰る途中、対向車線で脇見運転の大型トラックに衝突された。	221	17	1～ 9
2002	4	13 ～ 14	工事契約成立先に挨拶に赴き帰社のため社用車で県道を走行中、下り車線のカーブでセンターラインを超えて対向の車に激突した。	231	17	0
2002	6	20 ～ 21	客先で警備システムの作動状況を示すため、2階の窓から隣接の倉庫のスレート葺屋根上に出て移動していたところ、スレート屋根を踏み抜きそのまま地上に転落した。	415	1	50 ～ 99
2002	3	16 ～ 17	納品のため高速道を走行中、故障のため路肩に停車中のトラックに衝突した。	221	17	1～ 9
2002	6	15 ～ 16	就業時間終了後、事務所で休憩するため床上82.5cmの高さにある窓枠に腰をかけたとき、開放していた窓から20.2m下の駐車場に墜落した。	418	1	10 ～ 29
2002	7	11 ～ 12	営業のため軽自動車で行中、反対車線を走行していた大型バスと正面衝突した。	231	17	10 ～ 29
2002	7	11 ～ 12	エアコン取り替えのため、古いエアコンの配管の切断を行い新しい配管を接続する作業中に、手すりから5m下の地面に墜落した。	418	1	1～ 9
2002	7	10 ～ 11	客先工場内で真空焼鈍炉のリーク調査作業を行っていたが、調査結果を確認に来た顧客会社の社員によって炉の脇でうずくまっているのを発見された。（頸椎脱臼骨折で死亡していた。）	341	1	1～ 9
		11	トラックに使用した防水シートを乾かすため、倉庫内の棚（高さ3m）に			1～

2002	6	～ 12	昇って作業中に墜落した。	391	1	9
2002	7	20 ～ 21	客先へ商品を届けるため乗用車で走行中、交差点で一旦停止せず飛び出して走行してきた乗用車と衝突した。	231	17	10 ～ 29
2002	8	20 ～ 21	顧客に配置薬品を届けて社用車で走行中、緩い左カーブで対向車線にはみ出して前方から来たトラックと正面衝突した。	231	17	10 ～ 29
2002	12	11 ～ 12	納品を終えて自動車で国道を走行中、信号のある交差点で右側から来た乗用車が運転席側面に衝突した。	231	17	1～ 9
2002	7	5 ～ 6	ワゴン車（レンタカー）に6人が乗って降雨の自動車道を走行中、スリップして横転したところへ後続の大型トラックに追突され3名が死亡した。	231	17	10 ～ 29
2002	7	5 ～ 6	ワゴン車（レンタカー）に6人が乗って降雨の自動車道を走行中、スリップして横転したところへ後続の大型トラックに追突され3名が死亡した。	231	17	10 ～ 29
2002	7	5 ～ 6	ワゴン車（レンタカー）に6人が乗り降雨の自動車道を走行中、スリップして横転したところへ後続の大型トラックに追突され3名が死亡した。	231	17	10 ～ 29
2002	7	6 ～ 7	コンビニで勤務中、おにぎりなどを万引きした男を見つけたので事務所に連れて行こうとしたが逃走したため、追いかけて事務所から50mほどの地点でもみ合いになり、刃物で腹部を刺された。	921	90	10 ～ 29
2002	8	23 ～ 24	ピザの宅配のため国道を軽ライトバンで走行中、緩いカーブに差し掛かったところで対向車線に進入し、走行してきた大型トラックと正面衝突した。	231	17	10 ～ 29
		17	工場内で、20枚ごとに鉄製の枠に入れて鉄柱に立て掛けて保管されていた			100

2002	9	～ 18	大板ガラス3枚を自動ガラス切断機で切断するため、鉄製の枠の木製の蓋を取り外したところ、鉄製の枠内の大板ガラス20枚（約800kg）が蓋とともに倒壊してきて下敷きになった。	529	5	～ 299
2002	3	～ 15	14 建材を2tトラックで現場へ運送し帰社のためトンネル内を走行中、対向の トレーラーが緩い左カーブではみ出して前方を走行していた乗用車に接触し、さらトラックに正面衝突してきた。	221	17	10 ～ 29
2002	10	1 ～ 2	トラックに冷凍食品等を積んで配達先へ向かう途中、片側2車線道路の中央分離帯を越えて反対車線の電柱に衝突した。	239	17	1～ 9
2002	2	18 ～ 19	商品配達業務を終え帰社するため社有車で有料道路を走行中、トンネルの入口から約600m入った地点で道路左側の非常駐車帯の壁に激突した。	231	17	1～ 9
2002	2	11 ～ 12	トラックで自動車部品を積んで国道を走行中、対向車線を横切りガードレールに激突した。	221	17	30 ～ 49
2002	9	6 ～ 7	社用車でライスセンターに向けて走行中、対向車線にはみ出して対向車と接触し反動で左前方の歩道を超えて壁に激突した。	231	17	10 ～ 29
2002	12	21 ～ 22	1tトラックで帰社するため走行中、会社の手前約300mの路上に駐車していたトレーラーに衝突した。	221	17	10 ～ 29
2002	1	11 ～ 12	顧客への商品配送と年末挨拶のため自家用軽自動車で国道を走行中、センターラインをはみ出して対向の普通乗用車と衝突した。	231	17	1～ 9
2002	12	21 ～ 22	スーパー内の店舗を閉店させたのち、会社の車で本社倉庫に翌日の商品の不足分を取りに行く途中、信号が青に変わり発車して間もなく大型トレーラーの後部に追突した。	231	17	1～ 9

2002	1	22 ～ 23	時間外労働が月間最大140時間近くなったため、うつ病を発症し自宅で縊死した。	911	90	30 ～ 49
2003	2	9 ～ 10	客先に車で荷を届けたあと市道交差点で停車していたときに、対向してきたトラックが交差点内で他車と衝突したはずみで衝突してきた。	221	17	10 ～ 29
2003	2	5 ～ 6	新聞配達のため自転車で県道を移動中、後ろから来た4t保冷車にはねられ、道路脇の小川に転落した。	221	17	30 ～ 49
2003	2	20 ～ 21	トラックで自動車道を走行中、前方の工事車両が車線を急に変更したため避けきれずに追突した。	221	17	1～ 9
2003	2	4 ～ 5	客先へトラックで納品に向かう途中、信号機のある交差点で赤信号を無視して進入してきたダンプカーに激突された。	221	17	50 ～ 99
2003	3	13 ～ 14	販売した中古バイクを整備したのち、試運転のため道路を直進中、左側の路地から飛び出してきた軽乗用車と衝突した。	231	17	10 ～ 29
2003	3	21 ～ 22	営業活動を終えワゴン車に5名が同乗して高速道路を走行中、前方を走行していたトレーラーに追突した。	231	17	10 ～ 29
2003	3	21 ～ 22	営業活動を終えワゴン車に5名が同乗して高速道路を走行中、前方を走行していたトレーラーに追突した。	231	17	10 ～ 29
2003	4	13 ～ 14	工場の敷地内で、スケール（酸化鉄）置場からスケールをショベルローダー（最大積載荷重2.4t）で貨物自動車（積載荷重18t）に積込んで運送する作業中に、貨物自動車のあおり（3.1m）とショベルローダーとの間には	225	7	1～ 9

			さまれて死亡していた。			
2003	4	9 ～ 10	トラックで走行中、信号待ちをしていた大型トラックに追突し、助手席に乗っていた者が死亡した。	221	17	30 ～ 49
2003	4	20 ～ 21	自動車道を会社のワゴン車で走行中、前方を走っていた4tトラックに追突した。	231	17	30 ～ 49
2003	5	22 ～ 23	ミニバイクでピザの配達を終え店にもどる途中、赤色点滅信号で交差点に進入したところ、黄色点滅信号側より直進してきた乗用車と出会い頭に衝突した。	231	17	1～ 9
2003	5	10 ～ 11	荷物用エレベーターに搭乗し1階から2階に上がる途中、昇降路の鋼材とエレベーターの床との間に上半身をはさまれた。	214	7	30 ～ 49
2003	6	12 ～ 13	宝石貴金属の販売を終え、ワゴン車で高速道路を走行中、大型トラックに追突され、同乗していた4人全員が死亡した。	231	17	10 ～ 29
2003	6	12 ～ 13	宝石貴金属の販売を終え、ワゴン車で高速道路を走行中、大型トラックに追突され、同乗していた4人全員が死亡した。	231	17	10 ～ 29
2003	6	12 ～ 13	宝石貴金属の販売を終え、ワゴン車で高速道路を走行中、大型トラックに追突され、同乗していた4人全員が死亡した。	231	17	10 ～ 29
2003	6	12 ～ 13	宝石貴金属の販売を終え、ワゴン車で高速道路を走行中、大型トラックに追突され、同乗していた4人全員が死亡した。	231	17	10 ～ 29
2003	6	17 ～	営業活動を終えて乗用車で自動車道を走行中、中央分離帯を越えて対向車（2名乗車）に正面衝突した。	231	17	1～ 9

		18				
2003	6	0 ～ 1	原付バイクを運転して出前先から帰る途中、市道交差点で2tトラックと出会い頭に衝突した。	231	17	1～ 9
2003	6	8 ～ 9	倉庫屋上から荷物を下ろすため、フォークリフト（最大荷重1t）を高さ3.55mの屋上に上げ、その後、倉庫屋上でフォークリフトに乗り込みエンジンを掛けたが動かないため、クラッチワイヤを見ようとしたときに車体がゆっくりとバックし、ブレーキが故障していて効かず、フォークリフトとともに地面に墜落した。	222	1	1～ 9
2003	7	14 ～ 15	顧客を訪問したが不在のため帰る途中に、4階階段から転落し3階踊場で頭部を強打した。	413	1	30 ～ 49
2003	7	17 ～ 18	社用の乗用車で国道を走行中、右カーブでスピードを出し過ぎていた（80～110km/h）ため曲がりきれず、道路左側の空地の石垣に正面衝突した。	231	17	10 ～ 29
2003	7	16 ～ 17	営業活動のため軽四乗用車で走行中、列車と衝突した。	231	18	10 ～ 29
2003	8	20 ～ 21	花火大会で、打ち上げ開始から数分後に5号玉（直径約5cm）の6発目を打ち上げようとしたときに、打ち上げ用のステンレス製筒（直径約15cm、長さ約120cm、厚み1.5mm）内で花火が爆発し、その後、付近にあった花火約80発が次々に誘発した。	511	14	1～ 9
2003	8	0 ～ 1	トラックで脇道から国道に出ようとしたときに、時速60kmで走行してきた大型トラックと衝突した。	221	17	1～ 9
2003	9	9 ～	乾燥精米機の解体作業で、乾燥精米機に接続された配管の取り外し作業を高さ約4.9mにあった木製の水平材に足を掛けて行っていたときに、コンク	411	1	1～ 9

		10	リートの床へ墜落した。			
2003	9	9 ～ 10	乾燥精米機の解体作業で、乾燥精米機に接続された配管の取り外し作業を高さ約4.9mにあった木製の水平材に足を掛けて行っていたときに、コンクリートの床へ墜落した。	416	1	1～ 9
2003	9	8 ～ 9	事業場敷地内で、ドラグ・ショベル（機体質量0.98t）をトラックの荷台に乗せようとしていたときに、バランスを崩して機械とともに転落した。	142	2	10 ～ 29
2003	9	11 ～ 12	バイクで商品の配達中、交差点で右側から来た乗用車にはねられた。	231	17	10 ～ 29
2003	10	20 ～ 21	バイクで宅配ピザを運んでいたところ、交差点左側より一時停止を無視したバイクが進入してきて真横から追突され、その反動で前方に飛ばされて地面に頭を強打した。	231	17	30 ～ 49
2003	11	17 ～ 18	自動車販売営業のためマイカーで走行中、対向車線にはみ出して大型トレーラーと正面衝突した。	231	17	10 ～ 29
2003	11	22 ～ 23	乗用車で走行中、高速道路上で発生した7台の玉突き事故の最後尾に激突した。	231	17	50 ～ 99
2003	11	17 ～ 18	移動式クレーンの荷台からフォークリフトを降ろすため、クレーンでフォークリフトをつり上げて旋回し地上に下げ始めたときに、車が横転したため車の運転席ドアと隣接して置いてあった別のフォークリフトの間にはさまれた。	212	6	1～ 9
2003	12	15 ～ 16	軽貨物車で走行中、鉄道の踏切で特急列車に接触して約10mはね飛ばされ、座席とハンドル部分との間にはさまれ全身を強打した。	231	18	30 ～ 49
		14	中国上海へ出張し、取引先の労働者が運転する乗用車に同乗して取引先に			300

2003	12	～ 15	向かって高速道路を走行中、故障のため路肩に停車中のトラックに追突した。	231	17	～ 499
2004	12	9 ～ 10	高速道路のインターから降りた坂道で路面凍結により前方の車が滑って逆向きに停車したため接触し、車を停止し車外に出たところ、後続車に激突された。	231	17	30 ～ 49
2004	8	16 ～ 17	乗用自動車を運転中、トンネル内において、運転を誤って対向車線に進入して対向してきた大型トレーラと正面衝突した。	231	17	10 ～ 29
2004	2	10 ～ 11	保冷車（最大積載量2t）を運転中、交差点で右折のために停車中の前方のダンプへ後方から追突した。	221	17	10 ～ 29
2004	8	18 ～ 19	4 t トラックを運転中、道路の右カーブで左側（助手席側）に横転し、トラックの運転席の屋根部がガードロープの支柱で押し潰され被災した。	221	17	1～ 9
2004	11	9 ～ 10	訪問販売のため徒歩で営業活動中、信号機のある交差点の横断歩道を青信号で横断していたところ、右折してきたトラック（2 t）にひかれた。	221	17	10 ～ 29
2004	9	16 ～ 17	4tダンプカーに乗り帰宅しようとしたところ、近くに止めていたドラグ・ショベルの運転席ドアが開いていたため、乗っていたダンプカーを止めて、当該ドラグ・ショベルの運転席ドアを締めようとした際、ダンプカーが動き出し手で止めようとしたが、止めきれずダンプカーとドラグ・ショベルの機体の間に挟まれた。	221	7	1～ 9
2004	4	14 ～ 15	赤信号で信号待ちをしていたところ、後方より乗用車に追突された。その衝撃により交差点内に押し出されて転倒したところ、左側より走行してきた大型バスに巻き込まれた。	231	17	10 ～ 29
2004	8	17 ～	乗用車を運転し国道を走行中、道路上の中央分離帯のバリケードに衝突した。	231	17	1～ 9

		18				
2004	3	7 ～ 8	出社のため起床し、着替えをしていたところ、体調が悪くなったため、救急車で運ばれ、搬送先の病院で死亡した。	911	90	10 ～ 29
2004	9	4 ～ 5	会社の商用車を運転して商品配送中、他車との接触により物損の交通事故に遭ったため、車を反対車線路側帯に停車させ、道路を横断し公衆トイレに立ち寄り用を足した後、自車に戻るため、横断歩道付近の道路を横断中、左方より直進してきた2 t 貨物自動車にはねられた。	221	17	1～ 9
2004	2	20 ～ 21	大型自動二輪を運転中、進行方向右側から国道に出てきた乗用車の左後部に衝突した。	231	17	10 ～ 29
2004	4	4 ～ 5	国道のバイパスインターから本線に合流しようとした被災者運転の乗用車が加速車線に駐車していた大型トレーラーに追突し、乗用車はその反動で下り本線を走っていた大型トレーラーに衝突した。	231	17	1～ 9
2004	7	5 ～ 6	バイクで牛乳の集配作業中、脇道から県道に出たところ乗用車と出会い頭に衝突した。	231	17	1～ 9
2004	2	4 ～ 5	朝、自宅において倒れた。	911	90	10 ～ 29
2004	2	16 ～ 17	店内の商品倉庫に設置された荷物用リフト（積載荷重240kg）に搭乗して2階へ上がる際にリフトの搬器の囲いと2階の床面との間に挟まれた。	214	7	10 ～ 29
2004	12	20 ～ 21	工場で解体した10 t トラックの荷台を移動するため、作業員2名を乗せたままクレーン2基で荷台をつり上げたところ、玉掛用具（フック付チェーン）を掛けていた荷台の一部が破損し、高さ2.5mの位置から荷台ごと墜落した。	211	1	1～ 9

2004	10	18 ～ 19	店外商品陳列棚の最上部に保管されていた土嚢袋（1束約20kg）を店内売場に移動させようと陳列棚によじ登り、土嚢袋を取り出そうとした際に墜落した。	419	1	100 ～ 299
2004	8	12 ～ 13	帰宅した後、食事をしたところ、急激に体調が悪化。救急車で病院に搬送されたが、死亡した。	921	90	30 ～ 49
2004	1	0 ～ 1	木造家屋新築工事現場にアルミサッシを納入しに来た建材販売店の労働者が、建屋2階の階段設置予定個所の開口部（0.9m×0.6m）から3.5m下のコンクリート床に墜落した。	414	1	1～ 9
2004	1	0 ～ 1	木造家屋新築工事現場にアルミサッシを納入しに来た被災者が、建屋2階の階段設置予定個所の開口部（0.9×0.6m）から3.5m下のコンクリート床に墜落した。	414	1	1～ 9
2004	9	21 ～ 22	営業車で国道を走行中、対向車と正面衝突した。	231	17	10 ～ 29
2004	4	0 ～ 1	乗用車で国道を運転中、カーブで対向車線に飛び出し、対向車線を走行中のトレーラーに正面衝突した。	231	17	10 ～ 29
2004	10	10 ～ 11	トラックを運転中、センターラインを超えてしまい対向してきた大型トラックと正面衝突した。	221	17	30 ～ 49
2004	3	9 ～ 10	乗用車で道路を走行中、所定の左折場所を通過したため、Uターンしようとした時に直進車と衝突した。	231	17	10 ～ 29
2004	9	11 ～ 12	自社の低温倉庫の改築工事中、フォークリフトでリフトアップしたパレット上に乗り、天井部分に断熱材を貼り付ける作業を行っていたところ、パランスを崩し、約4.5m下のコンクリートの床に転落した。	222	1	1～ 9

2005	7	13 ～ 14	国道の路肩に乗用車を止め、準備作業で車外にいたところ、後方より走行してきた大型トラックに衝突された。	221	17	1～ 9
2005	1	15 ～ 16	軽トラックで国道を走行中、対向車線にはみ出し、対向してきたダンプトラックと正面衝突した。	221	17	30 ～ 49
2005	12	14 ～ 15	トラックで国道を走行中、中央分離帯を乗り越え、対向してきたタンクローリー車と正面衝突した。	221	17	10 ～ 29
2005	12	14 ～ 15	トラックで国道を走行中、中央分離帯を乗り越え、対向してきたタンクローリー車と正面衝突した。	221	17	10 ～ 29
2005	10	19 ～ 20	トラックで交差点を右折しようとした際、直進してきた対向車と接触した。	221	17	1～ 9
2005	7	13 ～ 14	ブレーキが故障したフォークリフトを勾配16度の坂道でチェーンブロックとワイヤロープを用いて下ろす作業を行っていたところ、ワイヤロープが切断したため、フォークリフトが逸走・横転し、運転していた被災者が当該フォークリフトの下敷きとなった。	222	2	1～ 9
2005	2	15 ～ 16	倉庫内作業において、高さ4mのはしごから転落した。	371	1	1～ 9
2005	6	15 ～ 16	トラックで国道を走行中、交差点において、前方で信号待ちをしていた他のトラックに追突した。	221	17	10 ～ 29
2005	6	9 ～	ミキサー車を後進させる際に道路脇から竹等がはみ出していたため、ミキサー車の材料投入口付近のステップ上に乗り、竹をよけながらしばらく進	221	5	1～

		10	んだとき、路肩が崩れてミキサー車とともに1.8m下に転落し、ミキサー車の下敷きとなった。			9
2005	4	9 ～ 10	乗車していた列車が脱線した。	232	18	30 ～ 49
2005	3	15 ～ 16	自動車の助手席に乗車中、運転手が運転を誤って道路脇のポールに衝突した。	231	17	10 ～ 29
2005	9	18 ～ 19	社用車を運転中、対向車線にはみ出し、前から来た乗用車と正面衝突した。	231	17	1～ 9
2005	3	19 ～ 20	除雪をしようと堆積した雪に登り、軒先を除雪していたところ、屋根に積もっていた雪が落ち、それに巻き込まれて用水路に転落した。	719	5	1～ 9
2005	9	21 ～ 22	原動機付き自転車（バイク）で走行中、交差点において軽自動車と出会い頭に衝突した。	231	17	10 ～ 29
2005	2	3 ～ 4	自宅で就寝中、呼吸停止した。	911	90	10 ～ 29
2005	6	4 ～ 5	国道をワゴン車で走行中、カーブ付近でセンターラインをはみ出したため、対向車と正面衝突した。	231	17	1～ 9
2005	8	11 ～ 12	コンクリート製側溝蓋の製作作業後、急に意識障害を起こし、死亡した。	715	11	1～ 9
		14				30

2005	5	～ 15	乗用車で走行中、他の乗用車と衝突した。	231	17	～ 49
2005	7	0 ～ 1	オートバイのショールーム内において、被災者は1人で商品の整理・陳列作業中、エレベーターの搬器と昇降路の壁との間に挟まれた。	214	7	10 ～ 29
2005	7	9 ～ 10	木造2階建民間家屋の1階屋根に設置されたエアコンの室外機の撤去作業中、屋根（高さ4m）から墜落した。	415	1	1～ 9
2005	2	18 ～ 19	ビルの非常階段の踊り場から転落した。	413	1	1～ 9
2005	1	5 ～ 6	開店準備をするため、シャッターを開けドアを開錠しようとしたところ、暴漢に襲われ刺された。	379	90	10 ～ 29
2005	7	15 ～ 16	トラックで高速自動車道の出口を走行中、渋滞で前方停車中のトラックに追突した。	221	17	1～ 9
2005	9	11 ～ 12	はしごを使い、電柱の防犯灯の器具装着作業を行っていたところ、はしごの3.2mの高さから墜落した。	371	1	10 ～ 29
2005	3	17 ～ 18	乗用車で高速自動車道を走行中、中央分離帯に衝突した。	231	17	1～ 9
2005	1	14 ～ 15	故障したボートを曳航するため、ボート後部で、曳航のためのロープの準備作業を行っていた時に、海に転落した。	239	10	1～ 9
		14				1～

2005	12	～ 15	軽トラックで県道を走行中、トンネル入口の側壁に衝突した。	221	17	9
2005	10	9 ～ 10	軽トラックで牛乳の配達中、県道でセンターラインからはみ出して、対向車線を走行していたミキサー車と正面衝突した。	221	17	1～ 9
2005	6	16 ～ 17	建屋3階の車庫に保管していたオートバイを、エレベーターを使用して1階まで下ろす作業をしていたところ、3階昇降路のシャッターを閉めず下をのぞき込んでいた被災者が搬器と床面との間に挟まれた。	214	7	10 ～ 29
2005	5	6 ～ 7	乗用車で高速自動車道を走行中、ガードロープに接触した後、スピンしながら中央分離帯に衝突し、車から放り出された。	231	17	10 ～ 29
2005	9	6 ～ 7	軽自動車で商品の配送中、道路脇の標識に衝突した。	231	17	1～ 9
2005	12	19 ～ 20	衣料品店内において火災が発生したため、従業員が消火活動を行っていたところ、逃げ遅れて焼死した。	999	16	1～ 9
2005	8	14 ～ 15	軽トラックで走行中、直線道路でセンターラインをはみ出し、対向してきた他のトラックに正面衝突した。	221	17	1～ 9
2006	2	8 ～ 9	軽トラックで配送作業において、国道の左レーンを走行中、交差点にさしかかったところ、後方から中央レーンを走行してきた乗用車が追突した。軽トラックは押し出されて信号機の柱に衝突した。	231	17	1～ 9
2006	2	0 ～ 1	被災者運転の車両が対向車線にはみ出し、大型トレーラーと衝突した。被災当日は路面が凍結していた。	231	17	10 ～ 29
		18	バイクで配達の帰途、信号の無い国道との交差点を横断しようとした際、			10

2006	2	～ 19	進行方向左手から走行してきた車両と衝突した。	231	17	～ 29
2006	1	20 ～ 21	踏切（遮断機、警報機付き）をピザ配達のためミニバイクで横断中、普通列車にはねられた。	231	17	1～ 9
2006	3	15 ～ 16	墓石の調整作業が終了し、使用していたクレーンをトラックの荷台に載せる準備のため、後ろ向きに移動させていたところ、斜面（5～12度）であったため、止まらず、道路沿いに停車させておいたトラックの「アオリ」部分と操作ハンドルの間に挟まれる形となり、死亡した。	212	6	1～ 9
2006	2	17 ～ 18	店舗の営繕を担当している被災者が軒先の氷柱を除去する作業中、屋根上から落下した氷の塊（約1m×0.5m）が激突し、負傷、その後、入院し治療を受けていたが、死亡した。	719	4	10 ～ 29
2006	3	17 ～ 18	バイクにて配達中、信号のない交差点において交差点から飛び出してきた相手自動車と衝突し、被災した。	231	17	10 ～ 29
2006	4	14 ～ 15	営業に向かうため軽自動車で県道を走行中、対向車線にはみ出したトラックと衝突した。	221	17	30 ～ 49
2006	4	5 ～ 6	被災者は、配達途中において、県道で、車を止め、道路反対側の配達先に配達後、車に戻ろうとしていたところ、トラックにはねられた。	221	17	1～ 9
2006	5	14 ～ 15	顧客の依頼により農機具（トラクター）の修理に行った被災者が、農地内の古井戸（深さ約8m）に転落した。	418	1	1～ 9
2006	5	14 ～ 15	自動販売機（約400kg）設置作業中、一端を敷石（H＝12cm）に乗せ傾いた状態で仮置きした自動販売機が倒れ、支えていた被災者が下敷きとなった。	612	5	10 ～ 29

2006	5	15 ～ 16	田の脇の斜面にて草刈機で草を刈っていたところ、被災者が斜面（こう配約45度）から滑り落ち側溝に墜落した。その際に手に持っていた草刈機が手から離れ、刃部が被災者に当たった。	711	1	1～ 9
2006	6	13 ～ 14	配送倉庫2階にある品物の発送のため、被災者が2階床面に設けられている開口部（大きさ2.8m×2.4m・1階床面からの高さ3.55m）の脇でパレット上に積み置き、その積み置きが終わり次第もう1人の作業者が1階にあるフォークリフトを使って降ろす予定であったが、被災者は同開口部から墜落した。	414	1	1～ 9
2006	6	21 ～ 22	被災者は営業活動のため一人で社用車で出発、国道を走行中にスリップし対向車線にはみ出し助手席側から牛乳タンク車（大型）と衝突した。	231	17	10 ～ 29
2006	7	10 ～ 11	研修会に出席するため、自家用車を運転中、運転操作を誤り対向車線に進入し、トラックと正面衝突した。	231	17	10 ～ 29
2006	6	10 ～ 11	被災者は3人で屋根のひさしの天井のボード（高さ2.7メートル）をバール、ハンマー等で崩す作業をしていた。被災者が声を上げたのを同僚が聞いたので振り向くと、被災者が作業に使用していた脚立（うま）とともに倒れていた。	371	2	1～ 9
2006	7	9 ～ 10	被災者は配達のため県道を軽自動車で行き、交差点に差し掛かったところ、北側から交差点に進入してきた普通乗用車が被災者の側面に衝突した。	231	17	30 ～ 49
2006	6	16 ～ 17	国道（見通しの良い片側1車線）において、走行していた被災者運転のトラック（最大積載量840kg）が、センターラインを越え、対向車線を走行していたトラック（11t）と正面衝突をした。	221	17	10 ～ 29
2006	7	13 ～ 14	被災者は食品配達のため軽保冷車を運転し走行中、運転を誤り橋の欄干に激突した。	221	17	30 ～ 49

2006	7	20 ～ 21	被災者は、固形カレールー約120kg（200g×60個入りの段ボール10箱）が積まれた台車を両手で牽引して店外在庫置き場から店内へ後ろ向きにスロープ（14度下り坂）を移動しているときに、台車が被災者側に倒れて当たり、台車とともに倒れた。	362	5	30 ～ 49
2006	8	13 ～ 14	最大積載量7.25トンのトラックに廃コンテナ（高252幅230奥行323センチ）2個を載せ、自社処分場に搬入した。油圧ショベル（アタッチメント：マグネット）のフックに玉掛用ワイヤロープを掛け、1個目の荷下ろしをした。2個目のコンテナに玉掛けするために被災者がコンテナ上部にあがったとき、姿勢を崩し、荷台上に墜落した（高252センチ）。	611	1	1～ 9
2006	10	6 ～ 7	取引先を社用車である普通自動車で訪問するため、高速道路に入った。サービルエリアで休憩後、流出ランプに入り本線を逆走したため、通常に運行していた対向車と正面衝突した。	231	17	1～ 9
2006	11	15 ～ 16	倉庫内に設置された自動搬送装置を用いて、樹脂製パレット4枚を3階から1階へ降ろす途中に、パレットのうちの1枚が搬器と昇降路に挟まり、搬器が動かなくなったため、挟まったパレットを撤去しようとして被災者らが搬器に載って撤去作業を行っていたときに、搬器が被災者らとともに約5メートル落下した。	219	1	30 ～ 49
2006	11	11 ～ 12	一般家庭用不用品回収の為、被災者及び同僚の2名で民家庭先に2トントラックを駐車し、不用品の積み込みを行っていたところ、庭先から一般道へ続く坂道へトラックが後進し始めた為、被災者がトラック後部を押さえ止めようとして右後輪付近と民家敷地内に置かれていた石とに挟まれた。	221	7	1～ 9
2006	9	10 ～ 11	倉庫において、米穀集荷作業中、2tトラックのあおりから転落した。	221	1	1～ 9
2006	12	16 ～	市内でピザ配達のためバイクを運転中の被災者が、踏切を横断中、普通電	232	18	1～

		17	車に衝突した。			9
2006	11	10 ～ 11	運送会社の整備工場内で、貨物自動車（１０ｔウイング車）の荷台上部に雨漏れ防止用のシート（９９０×２６０ｃｍ）を取り付け作業中、荷台後部の角で、荷台上に敷かれた防水シートを粘着テープに貼り付けるため同シートを引っ張っているとき高さ２．６６メートルの脚立足場からコンクリートの地面に転落した。	411	1	10 ～ 29
2006	11	9 ～ 10	被災者は落葉の清掃か何かの作業中高さ約３．９ｍ、約７０度の坂を転落した。	711	1	1～ 9
2006	12	9 ～ 10	被災者は商品を搬送するためバイクで川沿い西側の道路を走行中、信号のある交差点を北から南へ通過しようとしたところ、南から交差点を右折中の車に衝突し転倒した。	231	17	30 ～ 49
2006	7	14 ～ 15	店舗の広告チラシを配布中に、配布先のマンションから路上へ出たところで原付バイクと接触し転倒した。	231	17	10 ～ 29
2006	11	15 ～ 16	被災者は、当該災害発生場所付近において、渋滞のため停車していたところ、車列の最後尾のタクシーに４トントラックが追突し、玉突き状態となり、車列の最後尾から２番目に停車していた被災者が死亡した。	221	17	1～ 9
2007	4	9 ～ 10	被災者は、車で営業先に向かって出発し、国道を右折しようとしたところ、ハンドル操作を誤り交差点を曲がりきれず対向車線側の電柱に衝突して負傷し、病院へ搬送されたが、死亡した。	231	17	10 ～ 29
2007	11	9 ～ 10	被災者はＤ型ハウス（縦５ｍ×横１０ｍ）の廃材の回収作業現場に一人だけ先に到着して、ドラグ・ショベルを使用して回収作業前に法面にバケットを押してクローラを浮かして油を差していた。その後、他の作業者が現場に到着した時にドラグ・ショベルの横で倒れている被災者を発見し、病院へ搬送したが、死亡した。	142	7	1～ 9
		4	被災者は、牛乳配達員として軽ワゴンで走行中、会社から約５００ｍ離れ			

2007	1	5	～	た地点にある交差点付近の中央分離帯に激突し、即死した。道路は濡れていたが、凍結していなかった（積雪なし）。	231	17	1～9
2007	3	13	～	新しいアルミサッシに交換する工事の見積り作成のために、住宅の一階屋根に上がって寸法を測っていたところ、足を滑らせて地面に墜落した。	415	1	10～29
2007	3	18	～	事業場から、酒類を納品するために2 tトラックで県道を走行中、左側に停車させて、強風のために荷台のビニールシートがはがれていないか確認していたところ、後方より走行してきたトラックに追突されてトラックの間にはさまれた。	221	17	1～9
2007	12	21	～	閉店後、店の売上金等が入った手提げ金庫を持ち、店舗向かいにある事務所に運んで行った際、事務所内で強盗に襲われた。	999	99	1～9
2007	11	18	～	店にあるバイクを他店舗へ運搬するため、軽トラックに乗せ高速道路を運転中に横転した。	231	17	10～29
2007	12	15	～	被災者は、事業場中2階（2階と3階の間）のバルコニーで冷暖房機の解体作業中、中2階のエレベーター出入口から、約m下の昇降路1階に墜落した。	214	1	1～9
2007	6	17	～	太陽光発電システム及びオール電化システムの工事を行う前に屋根の状況の確認等を行う現場調査において、被災者はハシゴを2階の屋根に立て掛け、同ハシゴを上って屋根の上に上り、作業中に屋根（高さ6 m）から墜落した。	415	1	100～299
2007	12	16	～	当日の作業終了後、タイムカードを押すために、1階調理場から出て屋外階段より2階の事務所へ行く途中、階段を踏み外し、踊り場に倒れた。	413	1	10～29
				積み重ねられた住宅用断熱材116枚（1.8 m×0.9 m×2.3 m）をフォークリフトで運搬していたところ、風にあおられて断熱材が落ちそ			

2007	10	8 ～ 9	うになったため、フォークリフトを運転していた被災者がフォークリフトの運転席と断熱材との間に入り断熱材を固定しようとしたが、誤ってマストの操作レバーに触れてしまい、マストが運転席側に傾き、被災者がマストとヘッドガードにはさまれた。	222	7	10 ～ 29
2007	3	17 ～ 18	最大荷重1.25tのフォークリフトを使用して、被災者1名にて、倉庫内資材の整理作業中、被災者がフォークリフトのエンジンを停止せずに運転席から離れた際、フォークリフトが後方に逸走し、被災者は、倉庫前に停められていた自動車とフォークリフトの間にはさまれた。	222	7	1～ 9
2007	9	6 ～ 7	事故で渋滞した車列の最後尾の乗用車にトラックが突っ込み、最後尾の乗用車に乗車していた運転者と助手席の同乗者が死亡し、その前方の2台のトラックの運転者も玉突きにより負傷した。事故の2時間前に、現場から約3.5km先で、事故が発生し、通行止めとなり、約2km渋滞していた。	221	17	1～ 9
2007	9	6 ～ 7	事故で渋滞した車列の最後尾の乗用車にトラックが突っ込み、最後尾の乗用車に乗車していた運転者と助手席の同乗者が死亡し、その前方の2台のトラックの運転者も玉突きにより負傷した。事故の2時間前に、現場から約3.5km先で、事故が発生し、通行止めとなり、約2km渋滞していた。	221	17	1～ 9
2007	5	16 ～ 17	道路脇に設置してある清涼飲料水の自動販売機前にトラックを停車させて、自販機に清涼飲料水を補充するため、トラック後方で清涼飲料水の積み降ろし作業をしていたところ、無職の男性が運転する乗用車に追突されてトラックと乗用車にはさまれた。	231	17	10 ～ 29
2007	5	10 ～ 11	被災者は、事業場の軽トラックで国道を走行していたところ、被災者の軽トラックがセンターラインをオーバーしたため、対向車線を走行していた大型トラックと正面衝突した。	221	17	10 ～ 29
2007	10	14 ～	被災者が事務所でポリ合板材（建具などに使用する材料）を積み込み、取引先に配送中に、市道でトラックと正面衝突した。	231	17	10 ～

		15				29
2007	7	8 ～ 9	開店準備のためシャッターを開けたが、台風により雨が店の中に入り込むため、被災者（店長）は電動シャッターを閉めながら陳列台（キャスター付きワゴン）を店内へ移動していたところ、降りてきたシャッターと陳列台との間にはさまれた。	418	7	1～ 9
2007	2	7 ～ 8	客先訪問のため社用車を運転中に、高速道路インター出口渋滞のため渋滞の最後尾に停車していたところ、後方から来たトラックが追突し、計5台が絡む玉突き事故となり3台が炎上し、当該車を運転していた被災者は死亡した。	221	17	50 ～ 99
2007	11	14 ～ 15	被災者は、取引先事業場に部品を納品した後、軽自動車で県道を走行していたところ、センターラインをはみ出し、対向車線を走行してきた大型トラックと正面衝突した。	231	17	1～ 9
2007	4	13 ～ 14	被災者が自転車に乗って集金業務中に、青信号を横断しようとした際、トラック（4 t 車）が左折してきたため、自転車ごと巻き込まれ被災した。	221	17	10 ～ 29
2007	2	16 ～ 17	作業が終了し撤収作業に入り、停車中の運搬用自社トラックの荷台に用具を積み込む作業中に荷台に乗っていた被災者がバランスを失って荷台から後向きに道路に墜落した。	221	1	30 ～ 49
2007	7	16 ～ 17	商品を配送するため国道を走行していた被災者が運転するトラック（3. 5 t）と、対向車線を走行してきたトラック（2. 5 t）が正面衝突し、被災者が死亡した。	221	17	30 ～ 49
2007	3	11 ～ 12	被災者が、乾燥牧草（一束450 kg）を保管している倉庫内で床面の乾燥牧草を整理する作業を行っていたところ、4段に積み上げていた乾燥牧草のうち、上部の3束が崩れ、被災作業者を直撃した。	611	5	1～ 9
2007	3	4 ～ 5	出張中、2日目の朝、宿泊中のホテルで死亡した。	921	90	30 ～ 49

2007	9	11 ～ 12	被災者は3 tトラックに積んだ精米袋を降ろした後、事務所に伝票を届けようとトラックを駐車場に停めて一旦運転席から離れたが、サイドブレーキを引き忘れていたためトラックが突然動き出した。そのことに気付いた被災者はトラックにかけより、運転席のドアを開けサイドブレーキを引こうとしたが、トラックはそのまま前進し、18.3m進んだところで右前部が電柱にぶつかり、被災者は運転席ドアと車体にはさまれ死亡した。	221	7	1～ 9
2008	8	2 ～ 3	深夜営業の店舗内から釣具を盗み、車で逃げた2人組を追いかけた被災者は、犯人の車のフロントガラスにしがみついたが、急ブレーキで振り落とされ、車の下にはさまれたまま約60mひきずられて死亡した。	999	99	1～ 9
2008	11	15 ～ 16	製品を冷蔵庫に運搬するため、被災者がトラックを運転して公道上を走行していたところ、当該トラックが公道の脇にある岸壁から海中に転落した。その後、被災者は自力でトラックの運転室から脱出したが、大量の水を飲み死亡した。	221	17	10 ～ 29
2008	12	15 ～ 16	土木資材を建設現場で荷卸作業中、積載形トラッククレーンが左側に傾き、オペレーターがガードレールと当該移動式クレーンとの間にはさまれた。	212	6	1～ 9
2008	6	14 ～ 15	赤信号のために停車していた乗用車等に、被災者が運転していたトラック（普通貨物自動車：積載量1.5t）が追突し、死亡した。現場は見通しのよい直線道路（下り勾配1度）であり現場にはブレーキ痕はなかった。	221	17	1～ 9
2008	6	9 ～ 10	スーパー鮮魚売り場の調理場において、冷凍マグロのブロックを包丁を使い一つ一つはがしていく作業中に右手に持った包丁で勢いよくブロックに当てたところ、手がすべり、被災者の身体を刺して死亡した。	364	8	10 ～ 29
2008	12	6 ～ 7	前日にじん芥車で収集した段ボール古紙を、納品先に納品し退出する際、被災者はじん芥車を納品先構内から路上に出して車両を止めて運転席から離れて閉門しようとした。その時じん芥車が逸走したため、これに気付いた被災者が車両に駆け寄ったところ、門の壁とじん芥車にはさまれて死亡した。	221	17	1～ 9
		9				100

2008	2	～ 10	管理責任者として勤務中に業務が多忙となり、精神障害を発症して縊死した。	921	90	～ 299
2008	1	13 ～ 14	三輪原付バイクで宅配の配達のために走行中、交差点で右方より進入したトラックと出会い頭に衝突して死亡した。	231	17	10 ～ 29
2008	8	22 ～ 23	バイクでピザ配達中、交差点でワゴン車と接触横転して死亡した。	231	17	10 ～ 29
2008	2	9 ～ 10	被災者は、本社で行われる会議に出席するために自転車で自宅から最寄り駅に向かう途中、交差点を直進したところ、左方から交差点に直進してきた自転車と出会い頭に衝突したため入院加療していたが死亡した。	362	17	1～ 9
2008	11	9 ～ 10	軽トラックで商品の配達中、交差点で右側から走行してきた10tダンプトラックと出会い頭に衝突した。	221	17	1～ 9
2008	7	19 ～ 20	営業所倉庫において、被災者が天井クレーンを用いて2段積まれたパレット（鉄製でガラスを固定用のもの）のうち、2段目のものを移動させようとしたところ、つっていたパレットが落下して下敷きとなり死亡した。	372	4	30 ～ 49
2008	12	16 ～ 17	倉庫壁面の窓枠の設置箇所の上部分の防錆塗装を行った際、貼り付けられていたマスキングテープをはがす作業を軽四輪貨物車の荷台を足場として行っていたところ、荷台から転落して死亡した。	221	1	1～ 9
2008	11	10 ～ 11	ホイールローダーを使用した販売用木材のはい積み作業において、被災者はローダーにより木材を荷台から降ろす作業の合間を利用して、はいの木回し作業を行っていた。その際、被災者が、自らが木回しした後のはいに再度立ち入ったため、ローダー運転者が慌てて旋回を止めたが、木材がグラップルから滑り落ちて被災者に激突した。	212	6	1～ 9
2008	4	15 ～	宅配をすませバイクで店に戻る途中、市道の信号交差点で自動車と出会い	231	17	10 ～

		16	頭に衝突して死亡した。			29
2008	2	14 ～ 15	子会社の工場内において、一人で、500tプレス（高さ4m）の清掃・修理（中古品の再販のため）を行っていた。天井クレーンでつり上げていたプレス天端の柵が落下し、本体から取り外して床に仮置きしてあったワーク置き台に当り、当該置き台が倒れて下敷きとなった。	372	4	1～ 9
2008	1	14 ～ 15	被災者は、生鮮食料品小売業の販売員として配達業務中に道路上で具合が悪くなり、単体停車（他車に衝突することなく自然停車）した。救急搬送したが死亡した。	921	90	1～ 9
2008	8	17 ～ 18	被災者が一人で休日出勤していた時、夜中の12:00頃に警備会社の警備員が事務所内の階段で倒れている被災者を発見した。被災者は移動中に事業所内の1階から2階に昇る階段から転落した。階段にはすべり止めはあったが手すりはなかった。	413	1	1～ 9
2008	12	10 ～ 11	被災者は会社の軽トラックを運転して顧客宅へ行く途中、道路左側に停車していた大型トラックに追突して死亡した。	221	17	1～ 9
2008	4	9 ～ 10	道路工事規制で停車中の被災者運転の乗用車にトラックが追突して被災者が死亡した。	221	17	10 ～ 29
2008	8	5 ～ 6	交差点を右折していたトレーラーと国道を直進していた被災者の運転するトラックが衝突した。	221	17	10 ～ 29
2008	11	5 ～ 6	新規開店する直営店舗において、一人で開店準備のため業務用コンピューターの設置作業を行った。その後、社用ワゴン車を運転して事業場に戻る途中、国道の下り坂の緩やかなカーブで運転操作を誤り、片側一車線の道路中央線を越えたため対向してきた大型トラックと衝突した。	231	17	1～ 9
2009	1	20 ～	木造建築現場に建築資材を配達した被災者が、その建築資材（プレカット	611	5	30 ～

		21	合板等）の下敷きになった。			49
2009	2	8 ～ 9	高速道を走行中、被災者の乗用車が圧雪によりスリップし、中央分離帯を越えて反対車線に進入して対向車と衝突した。	231	17	10 ～ 29
2009	6	17 ～ 18	顧客訪問の営業を終え、会社事務所に乗用車で戻る途中、右カーブに差し掛かったとき対向車がハンドル操作を誤り、センターラインをはみ出して対向車線に進入し、被災者の乗車している乗用車と衝突した。運転手が休業災害となり、助手席に乗っていた被災者が死亡した。	231	17	10 ～ 29
2009	11	11 ～ 12	ボイラー機械室屋上において、テレビ受信のために設置した臨時アンテナを取り外す作業中、アンテナパイプを固定していたステンレスバンドを外す際に、工具に力が入りすぎて勢い余って屋上から約3m下の地面へ墜落した。	418	1	1～ 9
2009	7	12 ～ 13	被災者が2tトラックを運転して、会社事務所から営業先に向かう途中、減速中の大型ダンプに追突した。他に同乗していた経営者が負傷した。	221	17	1～ 9
2009	7	5 ～ 6	牛乳の配達作業のため軽トラックで県道を走行していたところ、軽トラックの左側より走行してきた乗用車が出会い頭に軽トラックの助手席側に衝突した。	231	17	1～ 9
2009	1	9 ～ 10	荷（藁を圧縮梱包した束）を納屋に積み上げる作業において、被災者はトラック（最大積載量1.5t）の荷台（高さ約1.6m）から荷を降ろしていたところ、バランスを崩して地上に墜落した。	221	1	1～ 9
2009	10	19 ～ 20	原付バイクで配達作業中に信号機のない交差点を通過する際、左からきたワゴン車と衝突した。現場は被災者側の道路に停止の標識があった。	231	17	10 ～ 29
2009	4	14 ～	墓地の区画内リフォーム作業を被災者を含む作業員2人で実施していた。墓の周囲のコンクリート製外柵（重量約380kg）を小型移動式クレーン（つり上げ荷重1.7t）でつり上げたところ、小型移動式クレーンが転倒した。	212	5	1～

		15	つり荷の付近にいた被災者は、倒れてきたジブを避けたときに付近の墓石に身体を強打した。			9
2009	10	19 ～ 20	被災者は、ミニバイクですしの宅配の途中、交差点で右折のため停止していたところ、後方から乗用車に追突され、反対車線側に転倒し、対向してきた乗用車にはねられた。	231	17	10 ～ 29
2009	10	11 ～ 12	浴室暖房器の据付工事のため屋外ではしごを用いて作業中、はしご（はしご兼用脚立）から降りてくる時に1.2m程度の高さから墜落し、アスファルト地面に身体を強打した。	371	1	30 ～ 49
2009	5	14 ～ 15	倉庫へ行くため、被災者の同僚が運転するワンボックス車が（被災者は助手席に同乗）走行中、対向してきたトラックと正面衝突した。	231	17	10 ～ 29
2009	7	19 ～ 20	小学校の給食室において、食器洗浄機の付属品の取付作業を行うため、事業場から出張していた被災者2人が食器洗浄機の前で心肺停止状態で倒れているのを発見された。災害発生時、給食室は夏季の冷房効果を上げるために室内を密閉した状態でガス給湯器の排気口を屋外に出さずに使用していた。	391	12	30 ～ 49
2009	8	10 ～ 11	コンクリートミキサー車を使用して生コン工場敷地内に散水するため、ミキサー車のタンクにホースで水を入れる作業中、タンクの水量を確認するためミキサー車後部に近づいたところ、コンクリート床が濡れていたため、足を滑らせて転倒した。	417	2	1～ 9
2009	3	15 ～ 16	工場解体に伴う引越作業のため、作業員2人で、軽トラックの荷台に荷（空間を仕切る板及び板ガラス）を載せて運搬中、軽トラックが市道を曲がった時に速度低下のためギアを一速に入れたところ荷が後方に倒れ、この荷が荷台後部に乗っていた被災者に当たり、被災者は荷台から転落した。	529	1	1～ 9
2009	4	14 ～ 15	被災者は、売り場に陳列するための商品を取るため、スーパーマーケット精肉部門の冷蔵庫内に入った。約5分後、冷蔵庫内で「ドン」と音がしたため、精肉作業室の作業員が冷蔵庫内を確認したところ、仰向けの状態で倒	921	2	50 ～ 99

			れている被災者を発見した。			
2009	2	10 ～ 11	家電製品販売業店の作業者が、2階建戸建住宅のアンテナ取付作業を行なうため、1階の小屋根に移動はしごを立て掛けて上っていた際、移動はしごから転落した。	371	1	1～ 9
2009	7	16 ～ 17	パチンコ店において、放火犯が入口付近にガソリンを撒き、それに火を点けたため、火災が発生して被災した。	512	16	300 ～ 499
2009	5	8 ～ 9	社用車（軽ワゴン）でお客さんへ製品を配達するため、国道の峠付近の坂道を登坂走行中、タンクローリー車と衝突し、身体を強く打ちまもなく死亡した。	221	17	1～ 9
2009	1	14 ～ 15	農業用機械の修理担当である被災者は、機械修理のため山の裾野にある顧客の農業倉庫へ向かう途中、上り坂で足が滑り転倒した。後日、被災者が倒れているところを顧客に発見された。	711	2	1～ 9
2009	10	19 ～ 20	営業担当者が、営業先の近くの敷地に駐車をして歩いて営業先に向かっていった。敷地と道路の間の側溝（深さ1.5m）に転落しているのを発見された。	418	1	50 ～ 99
2009	6	14 ～ 15	中元シーズンのため休日出勤し、大倉庫の高さ4mほどの中2階にて商品を箱詰めしていたところ、10箱から20箱とともに墜落して死亡した。災害発生を発見したのは翌日の午前10時頃に出勤した者であった。	414	1	30 ～ 49
2009	5	3 ～ 4	自宅において布団の傍らに仰臥位で死亡しているのが発見された。	921	99	10 ～ 29
2010	1	17 ～ 18	客先の油圧式カーリフター（積載荷重2500kgのエレベーター）の月次点検作業で、カーリフターの搬器に乗り、搬器を上昇させながら身を乗り出してガイドレールへのグリース塗布及び状況確認を行っていたところ、ガイドレール支持塔頂部を繋ぐ梁と搬器の鉄柵（高さ1.4m）の間に挟まれた。非常停止ボタンを押したが間に合わなかった。	418	7	30 ～ 49

2010	1	17 ～ 18	ワラビ餅を製造するため、事業場内に設置されていた餡練機に材料を投入し、攪拌するために起動スイッチを投入した時に被災者の被服の一部が攪拌棒の突起部分に絡まり、首を圧迫されて死亡した。発生当時店内には被災者しかおらず、発見時にはすでに死亡していた。機械に巻き込まれを防止するための囲い等がなかった。	165	7	1～ 9
2010	1	5 ～ 6	被災者は、事業場敷地に接する道路の付近に横断歩道がない場所を徒歩にて横断していたところ、走行してきた普通乗用自動車に跳ねられたもの。早朝で暗く、運転者が被災者に気付くのが遅れた。	231	17	1～ 9
2010	3	17 ～ 18	自動車整備工場内の、高さ約3.5mの位置に設置されているコードリール（屋根から吊り下げられている角鋼管に取り付けられている）に電気配線を取り付けるため、梁に脚立を開いてはしご状にして立てかけ、高さ約1.7mの位置の踏さんに足をかけて作業していたところ、被災者がバランスを崩したか脚立の接地部が滑ったかにより、脚立とともに墜落し、頭部をコンクリート床面で打撲した。入院加療していたが、5日後に死亡した。	371	1	1～ 9
2010	3	0 ～ 1	自宅にて頭痛を訴え倒れ、脳内疾患により死亡したもの。発症前2か月前から6か月前にかけて長時間労働が認められる。	921	90	30 ～ 49
2010	3	12 ～ 13	被災者は、宝石の訪問販売担当の営業係長で、自宅を社用車（乗用車）でルート営業活動のために出発した。ルート営業活動は、7日間の予定であった。国道を走行中、アイスバーンで滑って対向車線にはみ出し、対向してきた大型トラックと正面衝突したもの。なお衝突された大型トラックの運転手に負傷は無かった。	231	17	10 ～ 29
2010	3	11 ～ 12	製品の販売応援業務に従事中、業務終了後、脳内疾患により店舗内で嘔吐し倒れた。その後入院先の病院で8日後に死亡したもの。	921	90	10 ～ 29
2010	4	14 ～	被災者は、公民館のアンテナ取替え作業において、部下1名と屋上棟屋に設置されているアンテナのポールをパラペット上で切断作業を行っていた	418	1	50 ～

		15	時、高さ3.5mの屋上に墜落したものである。			99
2010	5	13 ～ 14	委託先から10tトラックで回収したケイ素鋼板スクラップを同僚がリフティングマグネットを装着した油圧ショベル（マグネット仕様機）を使い、鉄製の箱に移し替えていた際、被災者がトラックと鉄製の箱の間に何らかの理由で立ち入り、マグネット仕様機の旋回と共に動いたトラックと鉄製の箱の側面との間に頭部を挟まれた。	212	6	10 ～ 29
2010	6	15 ～ 16	取引先である牧場の飼料倉庫において、わらの塊（圧縮されたわら、重量450kg）を積み下ろし作業中、同僚が客先所有のフォークリフトで倉庫奥に4段積み上げたのち、続けて手前に積み上げるため、被災者がパレットを敷いていたところ、奥に積み上げられた3、4段目のわらの塊が落下し、被災者に激突した。被災者は、病院へ搬送されたが、5時間半後に死亡が確認された。	611	5	100 ～ 299
2010	6	16 ～ 17	墓石据付工事に係る工事代金の集金のため、乗用車（同乗者なし）で施主宅に向かう途中、国道のバイパスを走行していたところ、運転を誤り、左側壁、次いで左側ガードレールに衝突し、運転していた乗用車が炎上し、焼死したものの。	231	17	1～ 9
2010	7	14 ～ 15	被災者が休憩のために建屋の外に出て、作業場建屋のシャッター横に設置してある、水圧開放装置（停電等非常時に、消火栓の水圧を利用してシャッターを開放するための装置）の排水パイプ（建屋内から外壁に繋がっている）にもたれかかったところ、同装置の200V配電盤から消火栓排水パイプに漏電していたため感電した。病院に搬送されたが、収容先の病院で死亡が確認された。	391	13	10 ～ 29
2010	7	11 ～ 12	被災者が、ダンプトラックの後輪タイヤ（直径1m、重さ約100kg）のパンク修理を行った後、修理済みの当該タイヤをダンプトラック本体に取付けようとした際に、当該タイヤの内部チューブが破裂し、被災者がタイヤもろとも風圧により飛ばされ、地面に激突したものの。	379	15	1～ 9
		16	事業場から農業機械を展示している場所へ農業機械を取りに行くため、事業場のトラック（1.5t車）を運転して高速道のトンネル内を走行中、			1～

2010	8	～ 17	入口から50mぐらいの位置で左側壁に接触し、そのはずみで反対車線を越えて右側壁に激突してトラックが運転席側を下に横転したもの。	221	17	9
2010	9	～ 11	青果店において、商品発注のための作業を店外で行っていた被災者が店内に入ろうとした際、入口に敷いてあったマットの弛みに足を取られ、転倒し、右膝を骨折したため、医療機関で治療を受けた後、自宅で療養をしていたところ、7日後に血管が詰まったため倒れ、医療機関に搬送されたが、同日死亡した。	417	2	1～ 9
2010	9	～ 23	商品の仕入れ先に向かって、ワゴン車で高速道路を走行中、前方に停止しているトラックに追突し、全身打撲により死亡した。ブレーキ痕は無く、前方不注意、もしくは、居眠り運転によるとみられる。	231	17	50 ～ 99
2010	9	～ 13	販売促進を目的としたバイクツーリングを開催し、会社スタッフ3名と顧客22名が日帰りツーリングに参加した。当日は、道の駅をスタートし、国道（片側1車線道路）を走行していた時、被災者が左カーブに差し掛かったところで転倒し、対向車線を走っていた乗用車に接触し、弾き飛ばされ頭を打ち死亡した。乗用車とバイクは炎上した。	231	17	1～ 9
2010	10	21 ～ 22	テレビスタジオで放送準備のため、脚立（天板高さ2.28mの脚立を使用）に登り、照明（照明下面高さ約3.4m）をセットする作業中もしくは降りる途中、バランスを崩し床に墜落して頭部を強打したもの。ヘルメットや安全帯などを使っていなかった。	371	1	300 ～
2010	11	～ 12	事業場玄関先の樹木の剪定作業を行っていたところ、はしご上から墜落したもの。墜落したとされる箇所は、高さ約4.5m。安全帯等を使用していなかった。	371	1	10 ～ 29
2010	12	6 ～ 7	スーパーの1階バックヤード階段下で倒れているところを発見された。	413	1	30 ～ 49
2010	12	～ 12	早めの昼食後、木材を取りに行くため自社のトラックを運転して走行中、緩やかな左カーブで対向車線にはみ出し、対向車（大型トラック）に正面	221	17	1～ 9

		13	衝突し、さらに後続の大型トラックに追突された。			
2010	12	14 ～ 15	生コンをコンクリートミキサー車で配達のため、高速道を走行中、速度超過により右側側壁にコンクリートミキサー車が接触・横転し、運転手が胸部圧迫により死亡したもの。	221	17	1～ 9
2011	6	12 ～ 13	被災者は、町内の取引先への配達業務のため、事業場所有のワゴン車を運転し、片側一車線の道を走行していたところ、対向車線にはみ出したため走行して来たトラックと正面衝突し、搬送先の病院で出血性ショックによる死亡が確認されたもの。現場は、直線道路であった。	231	17	1～ 9
2011	3	8 ～ 7	平成23年3月14日午前8時ごろ、地下1階厨房にあった湯沸かし器を使い始めたところ、その湯沸かし器につながっているガスホースが発火、消火しようとしたところで爆発した。爆発の衝撃により地下1階の天井（1階の床）が落下し、被災者が下敷きになった模様。当該湯沸かし器については、12日にも警報が鳴ったため、点検したが異見つけられず。13日にも使用開始直後警報が鳴ったが、使えたので使っていたとのこと。	513	14	1～ 9
2011	8	10 ～ 11	災害発生日、被災者を含めた2名の作業員で一般住宅の屋根にアンテナの取り付け作業を行っていた。同僚の作業員が古いアンテナを取り外して、被災者がそのアンテナを屋根の上から地面に投げようとしたところ、アンテナのベースの一部が被災者の胸ポケットに引っ掛かっており、アンテナを投げたときに胸ポケットが破れ、その勢いで体勢を崩して4.18メートル下の地面に墜落した。その後、療養していたが8月26日に死亡した。	415	1	1～ 9
2011	7	12 ～ 13	被災者は、ビル6階店舗に販売したエアコンの点検・修理等を手配し、関係工事の完了を確認するため車中で待機していた。そして、工事完了の報告を受けて同店舗に行くためエレベーターホールに向かう際、通路脇の地下階段を踏み外して約4メートル下に転落し被災したもの。	413	1	1～ 9
			被災者は除雪用品売り場のスコップが少なくなってきたために、スコップの補充をしに農業資材コーナーに行った。その後、客から人が倒れている			

2011	1	8 ～ 7	との連絡があり、売り場に確認に行くと9尺の脚立の傍で被災者が倒れていた。病院に搬送される時は意識があり、病院に運ばれてからもしばらくは人とも会話できていたが、11時頃になって急変し緊急手術を受けた。それから意識は戻らず、2月5日に死亡したもの。	417	2	100 ～ 299
2011	2	14 ～ 15	屋根付き屋外通路屋根上の積雪を落とすため、脚立に乗って雪かき棒で雪を落とす作業を行っていた被災者が地面に倒れているのが発見されたものの。発見後救急搬送されたが、平成23年3月4日死亡したもの。	371	1	1～ 9
2011	3	11 ～ 12	平成23年3月6日午後0時頃、ホームセンター駐車場灯油コーナー傍において、男性従業員（68歳）が灯油タンク残量の確認作業中に、バックしてきた一般客の運転する軽自動車に巻き込まれ死亡する労働災害が発生した。	231	17	50 ～ 99
2011	1	17 ～ 18	被災者は、営業を終え、会社へ戻る途中、対向車線にはみ出し、対向車線を走行して来た4tトラックと正面衝突し被災したもの。	231	17	50 ～ 99
2011	4	8 ～ 7	事務所兼資材置き場の荷物昇降用リフト（積載荷重：1t、搬器：縦1.5m×横1.5m×高さ1.7m）2階部分で、搬器内で扉上枠と搬器上枠の間に頭部と左上腕を挟まれているところを同僚に発見された。（搬送先の病院で低酸素症で死亡）7月5日災害調査復命書送付。確定	214	7	1～ 9
2011	8	12 ～ 13	被災労働者はフランチャイズ店にて弁当調理・単車での配達を担当していた。H23.8.23に単車にて弁当を届け、店に戻る途中の交差点で普通貨物自動車と衝突。病院に搬送されたが約5時間後に頭部外傷による急性脳膨脹により死亡確認された。	231	17	1～ 9
2011	6	10 ～ 11	被災労働者は建設用資材を現場に配送する業務を行っており、当日は、会社から普通（3トン）トラックで、現場に荷降ろし、10時30分頃、次の現場に向かって出発。高速道路を経由し、11時頃高速インターチェンジ出口付近の渋滞列で待機中に後方の軽自動車に大型トラックが追突し、玉突き衝突で軽自動車が被災者の車に追突。被災者のトラックを含め5台	231	17	1～ 9

			が炎上、被災者は焼死体で発見される。			
2011	12	10 ～ 11	フォークリフトを使用し作業場の照明を取り替えるため、フォークで上げたパレット上に乗り作業をしていたところ、昇降時に墜落し、マストの一部に腹部を強打したことによる失血死と推定される。	222	1	1～ 9
2011	5	14 ～ 15	被災者が社屋2階に在る倉庫において首を吊り、自殺縊死しているのが発見されたもの。	921	90	
2011	9	5 ～ 6	台風の豪雨で近くの山で土砂崩れが発生し、建設業寄宿舍内にいた被災者が土砂崩れに巻き込まれた。土砂に埋もれていたところを救助されたが、死亡したもの。	711	5	
2011	9	13 ～ 14	走行中、被災者が運転する自家用車がセンターラインをはみ出し、対向車線から走行してきたダンプトラックに激突し、死亡したもの。	221	17	10 ～ 29
2011	7	2 ～ 3	当日は、早朝から出勤。夜にうなぎの配達を終了し、午後10時頃帰宅した。その後、風呂、食事を済ませ、午後11時過ぎに就寝した。翌朝の午前5時に起床する予定で目覚まし時計をセット。午前5時に目覚まし時計が鳴ったが鳴りやまないので、家族が被災者の元に行ったところ、既に死亡していた。	921	90	
2011	5	17 ～ 18	被災者が、民家（一戸建て住宅）のテレビアンテナの調整作業のため、1階の屋根から2階の屋根に脚立を架けて上っていたところ、脚立と共に1階の屋根からアスファルト道路上に墜落した。	371	1	
2011	7	11 ～ 12	被災者は当該事業場の工場内において、建設資材の表面に加工されたシー ル材の剥離作業を開始した。被災者の様子がおかしくなり、心配した同僚が声をかけ、被災者を休憩室に連れて行って介抱していたところ痙攣が発症したため救急車を要請し、病院に搬送され、病院で死亡したもの。	715	11	10 ～ 29
2011	6	17 ～	バイク展示場（平屋）の屋根（テント生地）の補修を行う為、屋根上に登ったところ、テント生地が破れ4. 15 m下のコンクリート床に墜落し	415	1	1～ 9

		18	被災した。被災者は、翌7日に死亡。			
2011	9	16 ～ 17	1. 5 tトラックの荷台に積んでいた断熱材が車道に落下したため、トラックを道路脇に停車した。被災者はトラックを降り、断熱材を拾った後、トラックへ戻るため車道の左端を歩いていたところ、後方から来た軽自動車にはねられ被災した。	231	17	1～ 9
2011	2	12 ～ 13	スキッドステアローダー（小型車両系建設機械：ホイール式トラクターショベル）の走行装置の修理作業中、運転席から身を乗り出すような姿勢で立ち上がったときに、アーム上下操作用の左ペダルを踏んでしまい、アームが上昇して、アームのバケットシリンダー部分とヘッドガード上部に頭部を挟まれ、脳挫傷により即死した。なお、災害は修理依頼に伴い熊本県へ出張し現地修理作業中に発生した。	141	7	1～ 9
2011	2	12 ～ 13	被災者が商品配達のため2 tトラックで事務所を出発し道路を走行中、約15分後にセンターラインをはみ出し反対車線の10 tトラックと正面衝突したものの。	221	17	1～ 9
2011	6	9 ～ 10	平成23年6月27日9時頃、被災者は、個人邸宅の一面に設けられているプレハブ小屋のベランダに、既設の墜落防止用の囲いをメッシュ状のフェンスを取り替える工事に従事していたところ、3m49cm下の地面に墜落して頭を強く打ち、平成23年7月1日に死亡したものである。	418	1	1～ 9
2011	3	10 ～ 11	中型バスのエンジンを取り外すため、タイヤ後輪下に直径50cm、幅15cmのタイヤを上1つ、下2つ2段にかさ上げ状態で、クラッチをバックに入れ、下にもぐり、被災者がエンジン部品をガス溶断機などを使って取る作業を行っている際、中型バスが後方に動き、地面とバスに挟まれ、内臓を圧迫されて死亡した。	231	7	10 ～ 29
2012	3	10 ～ 11	被災者は走行中交差点において、急性心機能不全を発症し、社有車を信号柱に衝突させ、脳挫傷により死亡した。	231	17	10 ～ 29
2012	1	17 ～	被災者は営業活動終了後、事業場に戻るため社有車を運転し走行中、片側1車線で中央分離帯のない緩いカーブで、センターラインをはみ出した対向	231	17	1～

		18	車に正面衝突された。			9
2012	10	8 ～ 9	買い付けた魚を工場へ運搬するために魚市場に来ていた被災者が、水揚げ に使用する氷の入ったプラスチック製のボックス（2段積み）を運んでいた 他社のフォークリフトと接触した。	222	17	10 ～ 29
2012	9	15 ～ 16	信号のある交差点において、社有車であるライトバンに2名で乗車し、右折 信号を右折していたところ、信号を無視して直進してきたトラック（最大 積載荷重12 t）に助手席側の側部に追突され、助手席に乗車していた労働 者が死亡、運転していた労働者が顔、胸等を負傷した。	221	17	30 ～ 49
2012	8	0 ～ 1	被災者は、管理職としての業務と営業業務を兼務し、通常でも出張業務を 行った後、事務所で事後処理や管理職業務を行い、休日である土曜日もた びたび出勤していた。特に死亡前の1ヶ月は、時間外労働が月110時間以上 に及んでおり、会社内において自殺した。	921	90	10 ～ 29
2012	12	17 ～ 18	タイヤのパンク修理作業において、タイヤを洗うために建屋外の水道蛇口 付近にいた被災者が、後進してきた同僚が運転するトラックに激突され、 その反動で転倒した際に頭部をアスファルト地面に強打した。	221	6	1～ 9
2012	6	11 ～ 12	被災者は配達終了後、バイクで事業場に戻るため、見通しの悪い交差点 （信号なし、一時停止線あり）を通過する際、優先側道路を直進していた 乗用車の右側面に衝突した。	231	17	10 ～ 29
2012	1	2 ～ 3	業務多忙による過労により死亡した。	921	90	1～ 9
2012	2	13 ～ 14	高速道路で被災者が運転するライトバンが渋滞の最後尾に停車していた大 型トラックに追突し、炎上した。なお、現場は片側二車線の直線道路であ るが、追い越し車線を規制して中央分離帯の工事が行われていたため、走 行車線が渋滞していた。	231	17	1～ 9
2012	9	21	被災者は店舗内のバックヤードに集積してあったごみを台車に載せ、店舗 が入っているビル1階にある共用ゴミ集積所に運んだ際、ゴミ収集所出入り	391	7	10 ～

		22	口シャッターに首を挟まれた。			29
2012	3	18 ～ 19	出張の後帰宅途中、駅構内のトイレを使用し、立ち上がってズボンを穿いている際に、バランスを崩して転倒し頭を強打した。被災者は一旦帰宅した後、救急搬送され「急性硬膜下血腫」で死亡した。	999	2	10 ～ 29
2012	9	9 ～ 10	砂利の混合作業を行うため、トラクターショベルをバック走行で作業場所に向かっていたところ、砂利を野積みする場所を写真撮影するために後方を歩いていた被災者に気づかずに轢いてしまった。	141	7	1～ 9
2012	4	9 ～ 10	被災者は会社に出勤した直後自席に着くなり突然転倒し、意識不明、心肺停止の状態となって救急搬送され、「くも膜下出血」と診断された。	921	90	10 ～ 29
2012	3	8 ～ 9	事業場の営業係の被災者が、顧客に商品を届けるため、会社の中型トラックに荷を積み会社を出発した後、高速道路を走行中に朝の通勤時間帯の渋滞で止まっていた自動車運搬車に追突した。この弾みで次々と玉突き衝突が起こり、被災者は救急搬送先の病院で死亡した。なお、現場は3車線のやや緩い右カーブであった。	221	17	1～ 9
2012	1	16 ～ 17	被災者は2階屋根上に設置されているテレビアンテナのブースター交換作業を開始した。その約30分後、道路に倒れ頭から出血した被災者が通行人により発見された。被災者の近くには、交換後のブースター器、1階屋根上から2階屋根上に昇降するためのアルミ製のはしご等が落ちていた。なお、屋根の端からの墜落防止措置（安全帽、安全帯等）はなかった。また、当該はしごを固定していた番線が2階屋根上の樋に残っていた。	415	1	1～ 9
2012	5	0 ～ 1	飲食店駐車場において、車内で被災者が死亡しているのを警備会社社員が発見した。検視の結果、虚血性心疾患による窒息にて死亡したものとされた。	921	90	1～ 9
2012	6	1 ～ 2	被災者は1ヶ月前より時間外勤務が増大した。過重な時間外労働が行われており、被災当日は午前0時頃帰宅し、風呂場の浴槽にて虚血性心疾患を発生し、翌朝発見された。	921	90	50 ～ 99

2012	3	5 ～ 6	店舗前の出入口付近を清掃作業中、加害者の運転する中型トラック（平式、ロングボディー型、最大積載荷重2.4 t、全長約9m、全幅約2m）が店舗前に駐車するため、後進してきて激突され、さらに店舗の柱部との間にはさまれた。	221	6	10 ～ 29
2012	1	9 ～ 10	配達のため車で走行中、大動脈断裂によりくも膜下出血で意識不明となり、交通事故を起こし失血死した。	231	17	1～ 9
2012	10	8 ～ 9	被災者は3階事務室から屋内階段を通り4階倉庫へ資材を取りに行った。3階にいた同僚が屋内階段から大きな音がしたため階段へ行くと、3階と4階の踊り場で倒れている被災者と資材を発見した。	413	1	50 ～ 99
2012	11	8 ～ 9	被災者は町の仕出し屋へ商品を配達するため出発し、国道にて配達先の町内案内板を見るため降車していたところ、後続の軽トラックにはねられ頭を強打し、死亡した。	231	17	10 ～ 29
2012	2	12 ～ 13	営業の帰路の高速道路で、被災者が運転する乗用車が中央分離帯に接触、車線を横切り反対側のガードレールに激突し、跳ね返ったところに後方から来た中型トラックが衝突した。被災者は頭部を強く打ち、救急搬送された病院で死亡が確認された。	231	17	10 ～ 29
2012	3	10 ～ 11	商品を配送後事業場に戻る途中、被災者が運転する社用車がトレーラーと衝突し、死亡した。	231	17	30 ～ 49
2012	7	18 ～ 19	被災者は業務中にめまいを発症し、自ら自動車を運転して帰宅したが、自宅トイレで倒れているところを家族により発見され、救急搬送先の病院でくも膜下出血により死亡した。	921	90	50 ～ 99
2012	5	14 ～ 15	軽トラックを運転し、助手席に同僚を乗せて訪問営業中、脇道から市道へ左折しようとしたところ、市道の右方向を走行してきた一般車両に衝突された。被災者は、その後運転席を降りて数歩、歩行した後に意識を失って道路上に倒れ、搬送先の病院で脳血管破裂による脳内出血により死亡した。なお、同僚は不休災害となる軽傷であった。	221	17	10 ～ 29

2013	7	13 ～ 14	被災者は、業務命令により受診した定期健康診断の際、胃部レントゲン撮影のためバリウムを飲んだ。その後腹部の調子が悪くなり、受診した病院で「胃バリウム検査後の大腸穿孔による腸膜膿瘍」と診断され、その後死亡した。	921	90	1～ 9
2013	10	14 ～ 15	被災者は、売り場にて脚立（高さ1.98m）を設置し、上段で何らかの作業をしていたところ、転落し、頭を打った。尚、保護帽は使用していなかった。	371	1	100 ～ 299
2013	11	23 ～ 24	被災者は、出張した帰路、乗用車（自家用車）にて国道を走行中、見通しのよい直線道路でスリップし路外に逸脱、防雪柵の鉄柱に衝突し肺挫傷により死亡した。尚、当時現場は激しい雷雨に見舞われていた。	231	17	1～ 9
2013	4	10 ～ 11	移動販売用の軽トラック（保冷車）に10kgの海産物（魚卵：メンタイコ）を積載し、訪問販売のため市内の集落へ向かう途中、国道（トンネル内：片側1車線の緩いカーブ）で、対向してきた普通トラックがトンネル内の壁に激突し、その弾みでセンターラインを越えて来たため、正面衝突した。	221	17	1～ 9
2013	7	12 ～ 13	営業を終え、市内の事業場へ戻るため国道を事業場所有の軽トラックにて南進中、道路脇の歩行者用信号柱に衝突し、同乗者が脳損傷により死亡した。	221	17	1～ 9
2013	4	4 ～ 5	被災者は、異動したことにより、それまでの職場とは異なり業務内容が非常に複雑となり、時間外労働は月100時間程度と大幅に増加して休憩時間の確保も困難な勤務状態となり、うつ病を発症して自殺した。	921	90	1～ 9
2013	8	14 ～ 15	被災者は、生コンを運搬するため、生コン車（4トン）を運転し、工場から工事現場（以下「現場」）に向かった。現場に到着し、生コン車を道路上に停車させ生コンを納品した後、納品により汚れた道路を清掃した。その後、被災者は、熱中症と思われる症状により道路上に倒れた。	715	11	10 ～ 29
		15	集成材からおが屑を製造する工場内の積込場所において、おが屑をサイロの落とし口から4トントラックの荷台上に積みこんでいたところ、荷台上			10

2013	5	～ 16	にいた被災者の上に大量のおが屑が落下して埋まり、病院へ搬送されたが死亡した。尚、荷台上にいた被災者は、サイロの落とし口からおが屑が出てこないため、長い木の棒をサイロの出口に差し込んで排出させようとしていたところ、大量のおが屑が荷台上に落下した。	418	5	～ 29
2013	12	7 ～ 8	2トントラックを運転中、居眠りのため、前方大型トラック右後方に、車両左前部が追突。その弾みで追い越し車線を経て、中央分離帯ガードレールに車両右側面から激突。助手席に乗っていた被災者が死亡した。	221	17	1～ 9
2013	6	21 ～ 22	被災者は、段ボールを積んだかご台車を足掛かりに備品を取ろうとしたところ墜落し、首にかけていたネクストラップが台車の支柱に引っかかって窒息した。尚、ネクストラップについては力が加わると外れるタイプであったが、長さ調節のため結び目を作っていたため外れなくなっていた。	362	1	100 ～ 299
2013	4	10 ～ 11	被災者は、停車している貨物自動車の荷台上で、収集したごみ袋の荷卸し作業を行っていたところ、貨物自動車が発車し、体勢を崩してアスファルトの地面に墜落した。尚、被災者は作業時、安全帯及びヘルメットは使用していなかった。	221	1	100 ～ 299
2013	7	17 ～ 18	食材の配達業務中の被災者は、配達物の荷下ろしのためトラック内で準備していたところ、気分が悪くなり、トラックの外に出てステップで寄りかかっていたが、通行人に声をかけられた際、道路に倒れこんだ。病院に搬送され、熱中症と診断された。	715	11	10 ～ 29
2013	9	9 ～ 10	ビール箱（350ml缶×24本入り）売り場にビール箱を補充するため、被災者は、前日から13段積んであったビール箱のすぐ横で、脚立に乗りビール箱を補充しようとしたところ、13段の横に10段積んである空箱にビール箱を落とし、その衝撃で13段のビール箱が被災者に崩れてきたため脚立と共に倒れ後頭部を床に打ち、死亡した。	611	5	30 ～ 49
2013	2	～ 10	建設現場で解体された足場板を小型移動式クレーン付きトラックに積み、足場材の所有者の倉庫まで運搬していた。荷崩れを発見した運転手が道路脇にトラックを止め、荷崩れを直していたところ、足場板（計50枚を番	521	5	30 ～

		11	線で結束したもの）が落下し、運転手がその下敷きとなった（足場板 1 枚の重量 1 2. 5 k g）。			49
2013	12	14 ～ 15	被災者は、ミニバイクで弁当の配達終了後、店舗へ戻る途中、交差点内で軽自動車と出会い頭に衝突した。	231	17	30 ～ 49
2013	8	20 ～ 21	ショッピングセンター閉店後、市道を挟んで向かいにある第 2 駐車場を閉めた後、交差点の横断歩道を渡って店舗に戻る途中、右折してきた軽自動車にはねられ、頭を強く打ち死亡した。	231	17	1～ 9
2013	7	4 ～ 5	農道において牛乳配達中、坂道に止めていた軽トラックが動き出し、約 2 m 下の地面にトラックと一緒に転落し軽トラックの下敷きとなった。	231	17	1～ 9
2013	1	20 ～ 21	無線中継所の不具合の疑いがあったため、徒歩で登山道から山頂付近の中継所を目指したが、途中で吹雪のため断念。下山の連絡をした後、徒歩での移動も困難となり、1 1 9 通報した。その後、搜索していたレスキュー隊によって救出されたが、うち 1 名が低体温症で死亡した。	715	11	10 ～ 29
2013	8	14 ～ 15	被災者は、会社所有の自転車を使用して、事業場へ向かった。その後、途中の路上で、頭部を強くうっている被災者が発見された。	221	17	30 ～ 49
2013	1	17 ～ 18	マグロの養殖いけす（直径約 4 0 m、深さ約 2 0 m）の網の点検及び死魚の回収等の作業を、被災者を含めた 2 名が交替で潜水して行っていた（1 か所あたりの潜水時間は 1 5 分程度）。被災者がいけす内部に潜った後、約 4 5 分経過しても水面に浮上しないため、もう 1 名の作業員が関係者に連絡し搜索したところ、いけすの底に沈んでいる被災者を発見した。	713	10	1～ 9
2013	10	17 ～ 18	被災者は、店舗内において、脚立上で飲料品陳列棚への商品の補充作業を行っていたところ、右足の踏み位置を変えた際、足を踏み外してバランスを崩し、床面に墜落した。	371	1	50 ～ 99
		20	業務を終え帰社する途中、事故処理の影響で渋滞していた最後尾の車両			10

2013	8	～ 21	(乗用車)に追突した。尚、被災地は見通しのいい直線であった。	231	17	～ 29
2013	2	5 ～ 6	軽トラックで会社から仕事先に向かう途中、道路の左側にあった電柱に衝突した。	221	17	50 ～ 99
2014	12	10 ～ 11	調理台の上にて、上方にある棚の清掃作業中、墜落し、コンロ台で背部を打ちつけ、死亡した。	391	1	1～ 9
2014	12	15 ～ 16	1階の屋根上にて、2階屋根の軒先付近に張り出した雪をスコップで突き落とそうとした際、雪止めが外れていた2階屋根上の雪が大きな塊となって落下し、落下した雪とともに1階屋根上から滑落。頭部を下にした状態で雪中に埋もれ、低酸素脳症により死亡した。	415	4	1～ 9
2014	10	5 ～ 6	バンで片側2車線の道路の歩道側を走行中、脇道の市道から右折で進入してきた大型ダンプの後部に車両前方から激突。運転席、後部座席にいた被災者らが死亡し、後部座席の2名は負傷した。	231	17	30 ～ 49
2014	10	5 ～ 6	バンで片側2車線の道路の歩道側を走行中、脇道の市道から右折で進入してきた大型ダンプの後部に車両前方から激突。運転席、後部座席にいた被災者らが死亡し、後部座席の2名は負傷した。	231	17	30 ～ 49
2014	10	14 ～ 15	ガラス8枚、鏡2枚の計10枚を入れた鉄枠パレットを柱に立てかけ仮置きしていた際、被災者がパレットの蓋枠のロックを外したところ、全てのガラスが倒れ、被災者が下敷きになった。	529	5	1～ 9
2014	9	18 ～ 19	新車フォークリフトの組立て作業中、バックレスト部分の下敷きになり、死亡した。	379	4	10 ～ 29
2014	9	10 ～ 11	テレビの配線工事中、3階のベランダで作業を開始した後、3階屋根上又は移動はしご上から転落した。	371	1	1～ 9

2014	9	9 ～ 10	所定の喫煙場所で休憩しようとした際、来店してきた乗用車が被災者に向かって暴走し、下敷きとなった。	231	7	10 ～ 29
2014	8	13 ～ 14	タイヤ倉庫内にて、荷物用エレベーターの搬器にタイヤを複数本を乗せ、搬器に乗った際、被災者の身体の胸部から上が昇降路囲いの開口部から外にはみ出る姿勢になったため、搬器の床面と倉庫2階床裏面の間に胸部を挟まれた。	214	7	1～ 9
2014	8	0 ～ 1	建設工事のための寄宿舍にて、深夜に火災が発生し、被災者他4人が死亡した。出火場所は1階の物入れで、ゴミなどが置かれていた。	911	16	10 ～ 29
2014	8	0 ～ 1	建設工事のための寄宿舍にて、深夜に火災が発生し、被災者他4人が死亡した。出火場所は2階の物入れで、ゴミなどが置かれていた。	911	16	10 ～ 29
2014	8	16 ～ 17	店舗倉庫入口の底の下で、フォークリフトのフォークにパレットを差し込み、その上に乗り、フォークを上昇させたところ、バックレストと庇屋根の波板の間に胸部を挟まれた。	222	7	1～ 9
2014	8	14 ～ 15	フォークリフトの整備作業に伴うホイール交換作業中、同僚がタイヤを立てた状態で支え、被災者がタイヤに空気を充てんしていたところ、タイヤが破裂し、破裂により飛来したタイヤの部品が被災者の胸部に当たり、死亡した。	529	15	10 ～ 29
2014	8	5 ～ 6	保冷車で牛乳の配達中、急カーブを曲がる際、歩道の縁石に乗り上げ、車ごと横転した。	221	17	1～ 9
2014	7	11 ～ 12	パワーゲート付きトラックから、貨物の入ったカゴ台車の荷下ろし作業中、カゴ台車を後ろ向きにパワーゲート側に引き出していたところ、パワーゲート端部から転落。カゴ台車が被災者の上に転落し、下敷きとなった。	221	1	1～ 9

2014	6	9 ～ 10	弁当の宅配中、エレベーターを使用し弁当を運搬していた際、2階へ上げた弁当をエレベーターから運びだそうとしたところ、エレベーターの搬器に囲いがなく、エレベーターの搬器床面と昇降路壁との間の開口部から1階へ転落した。	214	1	30 ～ 49
2014	6	19 ～ 20	事業場施設の内階段を降りた際、階段の中段付近で足を踏み外し、頭部、腹部を強打し、肺出血、前頭部挫傷、外傷性くも膜下出血により死亡した。	413	1	50 ～ 99
2014	4	9 ～ 10	トラックからフォークリフトを用いて精密機械を降ろす作業を行っていた際、機械をフォークリフトで持ち上げたところ、機械が落下し、フォークリフト付近にて、誘導作業を行っていた被災者に当たった。	611	6	10 ～ 29
2014	2	15 ～ 16	被災者は、冷蔵庫の室外機の取付作業中、近接する県道を南方向から北方向に走行していた第三者が運転する乗用車が、センターラインを越えて道路右側のブロック塀に衝突した際にはねられ、死亡した。	231	17	1～ 9
2014	2	3 ～ 4	被災者は、自宅前の公園の桜の木にて、ビニールテープを用い縊死した。業務による出来事として、継続的に「バカ、クズ」と言われていた。また、店長が「店にある期限付き商品の全ての期限切れチェックを、毎日の業務以外の時間に一人で行うように」と指示していた。	911	90	1～ 9
2014	2	10 ～ 11	惣菜の調理場にて、被災者は揚げ物を調理中、油の入った鍋に両腕を付いてしまい両腕の肘から指先までを火傷した。	391	11	1～ 9
2014	1	12 ～ 13	国道で、被災者の車がスリップしセンターラインを越え、対向車線を走行していた車と正面衝突し、死亡した。尚、路面は一部凍結していた。	231	17	1～ 9
2014	1	16 ～ 17	建築工事現場にて、建築資材の配達のため、同僚とトラックの荷台から石膏ボードを下ろす作業中、荷台上の石膏ボードが崩れて落下し、その下敷きとなった。	611	4	10 ～ 29
		4	昼食の仕出し弁当に入れるおしぼりの在庫が切れ、被災者は、店舗へ買い			50

2015	4	～ 5	出しのため、同僚と２台のバイクで公道を走行中、同僚を追い越した後、カーブを曲がり切れず、ポールに激突し、死亡したもの。（外傷性胸腔内蔵器損傷：即死）	231	17	～ 99
2015	5	12 ～ 13	被災者は、フォークリフトの点検・整備作業のため、二柱リフトで持ち上げたフォークリフトにリアアスクルビームを取り付けていたところ、同二柱リフトから床へ落下したフォークリフトに当たったもの。当時、被災者は１名で作業を行っていた。目撃者がいないため詳細調査中。	391	4	10 ～ 29
2015	7	9 ～ 10	出張のため、午前６時５０分発の新幹線に乗車し、午前８時３４分に目的地に到着した後レンタカーで出張先に向かったが、午前９時４０分頃、出張先正門前の駐車場で倒れているところを発見された。病院に救急搬送されたところ、くも膜下出血と診断され、意識が戻らないまま平成２７年８月７日午前１１時５７分に死亡したもの。	921	90	50 ～ 99
2015	5	0 ～ 1	被災者が屋上駐車場出入口において、脚立（高さ約３メートル）に乗って、看板（高さ約４メートル）上に鳩除けを設置していたところ、脚立から墜落したもの（推定）。被災者は意識不明の重体であったが、平成２７年５月２８日午前８時過ぎに死亡が確認された。	371	1	10 ～ 29
2015	7	16 ～ 17	農家の農機具倉庫内で、ジャガイモ収穫機の点検・修理作業を行っている被災者と連絡が取れないため、サービス課長が様子を見に行ったところ、収穫機の茎葉ローラー（ジャガイモから茎を外すローラー）に巻き込まれている被災者を見つけたもの。	169	7	30 ～ 49
2015	2	0 ～ 1	１月３０日に仕事中に倒れて病院へ搬送され、過労と寝不足が原因と診断された。２月２日に自宅近くの心療内科へ受診し、「適応障害（抑うつ状態）」と診断された。同日、診断書を持って事業場へ行くと告げて自宅を出た。自宅からの通勤経路から少し外れた山林内において、車の脇で頸部を刺し自殺した。その後、労災保険の請求がされ、平成２７年１１月１７日に業務上と決定された。	921	90	10 ～ 29
		12	被災者は、市内の得意先で１３時から開催される会議に出席するため、会社の事務所を出て社有車がある駐車場へ向かって徒歩で移動していた。信			10

2015	10	～ 13	号機のある交差点において、青信号で横断歩道を渡っていたところ、青信号で右折してきた乗用車にはねられ、道路に頭部を強打した。	231	17	～ 29
2015	2	～ 12	高速道路において、3次元位置情報の測量的ため、被災者2名が専用車両に乗車し、時速50キロメートル程度で当該自動車道を走行しながら、計測していたところ、後続の大型貨物自動車に追突され、助手席に乗っていた労働者が頭を強く打ち、意識不明の重体で救急搬送され、翌日、死亡した。運転していた同僚も全身を強く打ち負傷。	221	17	50 ～ 99
2015	7	～ 11	自動販売機オペレーション業務を行っていた被災者が、納品先前に駐車していた営業車の運転席で痙攣（けいれん）しているところを納品先の近隣者に発見された。通報を受けた警察と救急により被災者の痙攣と嘔吐（おうと）が確認されたため病院に搬送され手術を受けるも死亡したもの。手術時には、左脳と脳のしんかんに水がたまっていた。	921	90	10 ～ 29
2015	5	～ 1	積載型トラッククレーン（つり上げ荷重2.93トン）を使用してトラックに鋼材（約1.3トン）を積み込むため、トラックの屋根上で作業していたとき、トラッククレーンのアウトリガが浮き上がり、逃げようとして高さ約2.4メートル下の地面に墜落した。病院へ搬送されたが、午後9時頃死亡が確認されたもの。	221	1	10 ～ 29
2015	4	～ 16	バイクにて配達中、交差点に入ったところ軽自動車と衝突した。（本件事故は、事業場における安全衛生管理との関係が希薄なため、災害調査は実施しない。）	231	17	10 ～ 29
2015	7	～ 13	被災者はホテルの洗い場に設置されている自社製品の食洗機を修理するため、一人で配電盤室にて配電盤のカバーを開けて食洗機の開閉器の点検作業をしていたところ、露出していた200Vの充電部分に左肩が接触して感電し、死亡したもの。	352	13	10 ～ 29
2015	9	～ 14	被災者は、1階バックヤードにて、非常用はしご室内（床面積2.03平方メートル）に立ち入り、検品のため商品搬送用台車に使用する棚板を格納していたところ、非常用はしご室の開口部（0.71m×0.42m）	414	1	100 ～

		15	から4. 47m下の地下1階に棚板ごと墜落したもの（現認者なし）。作業時、非常用はしご室は、地下及び1階ともに消灯していた。			299
2015	4	16 ～ 17	取引先工場へ出張メンテナンス作業中、大型射出成型機の配管補修作業において、当該配管の締め付け時に工具が外れてバランスを崩し、コンクリート床面まで墜落（高さ5. 16m）したもの。	391	1	1～ 9
2015	2	9 ～ 10	粉粒体運搬車からセメント粉をサイロへ空気圧送しようとしたところ、タンク上面の投入口蓋から空気が漏れる音がしていたため、被災者が投入口蓋のハンドルを操作したところ、投入口から空気が一気に抜けたため、投入口蓋が勢いよく開き、被災者の右の額に激突し、脳挫滅症となり、粉粒運搬車から、3メートル下の地面に落下したもの。	221	6	10 ～ 29
2015	3	0 ～ 1	橋の北側交差点において、被災者（乙）が右折のため信号待ちしていたところ、橋から北方面に直進してきた加害者（甲）が運転する乗用車が乙の乗用車後方に激突し、衝撃で前方に突き飛ばされた乙の乗用車が乙の前方で信号待ちしていた丙の乗用車に激突、さらに前方に突き飛ばされた丙の車にミニバイクが激突し、衝撃で反対車線に飛び出した甲の乗用車に丁が運転する2トントラックが激突したもの。	231	17	100 ～ 299
2015	3	8 ～ 9	自家用車で自宅から出張先へ向かう途中、道路左側の木に接触後、対向車にも接触し、その後そばの公園に突っ込み、転落防止用の鉄柵を突き破って池に転落した。被災者は搬送先の病院で死亡が確認された。（水死）4月23日に遺族・葬祭・就学援護の請求があり、6月18日支給決定された。	231	17	1～ 9
2015	12	16 ～ 17	県道を挟んで店舗と資材置場が設置されている事業場において、資材置場の在庫（欠品）の状況を確認するため、店舗から資材置場まで徒歩で県道を横断中、走行してきた乗用車にはねられ、病院に搬送されたものの、翌日に頭蓋骨骨折による脳出血で死亡した。	231	17	10 ～ 29
2015	11	21 ～	被災者は、会議に出席した後、帰宅するために飛行機で地方まで移動後、一人で、空港に停めていた自家用車（普通乗用車）に乗って高速道路を走行中、前の車を追い越そうとした際にスリップしてガードレールに激突し	231	17	50 ～

		22	たもの。			99
2015	9	6 ～ 7	薬局店において、電気メーター取替のため、被災者がペンチを持って移動はしごを上り、切断予定の電気配線の結束具を外していたところ、地上約4.3mの位置から雨避けブルーシートとともに墜落し、駐車中のハイエースの助手側屋根と助手席側ドアにぶつかり、地上の排水溝の金網上に仰向けに倒れた。9/5脳挫傷のため被災者は死亡した。フード付き雨合羽とゴム長靴を着用していたが、墜落防止用保護未着用であった。	371	1	1～ 9
2015	7	16 ～ 17	注文された商品を最大積載量1.5tのトラックで配達後、当該トラックを運転して事業場へ戻る途中、国道上において、対抗車線にはみ出し、進行方向の右端の擁壁に当該トラックが接触、その反動で進行方向左側のガードレールの上に、運転席を下にして横転したものである。	221	17	30 ～ 49
2015	8	8 ～ 9	本店から被災者を車で送ってきた同僚が、被災者を降ろした後、車に積んでいた商品を降ろすため店舗前の駐車場にバックで停めようとしていたところ、ブレーキとアクセルを踏み間違え、車止めを越えて進んだため、開店準備のため店舗の外にいた被災者が車と店舗の壁に挟まれ死亡した。	231	17	1～ 9
2016	12	18 ～ 19	被災労働者は、休憩が終わり、ショッピングセンターの駐車場にあるカーポート置場に置かれたショッピングカートの回収作業を行うため、休憩室から駐車場に向かう途中、客が運転する乗用車にはねられ、死亡した。	231	17	10 ～ 29
2016	12	18 ～ 19	被災者がスーパーのバックヤードに設置された簡易リフトを使用し、商品のしめ縄を台車に載せて1階から2階へ搬入する作業を行っていたところ、2階部分で台車が昇降路内側に引っかかり、1階に降りなくなった。そのため被災者は2階に上がり、積降口の戸および搬器の戸を開けたうえ、頭を搬器の中に入れて、台車を動かしたところ、搬器が降下し、被災者の頸部が2階床面と搬器天井部に挟まれた。	214	7	30 ～ 49
2016	12	12 ～ 13	被災者が昼休みになっても事務所に帰ってこないため、同僚が探しに行ったところ、塗装中の貨物輸送用コンテナの横で耳から血を流し倒れている被災者を発見した。	371	1	1～ 9

2016	12	11 ～ 12	高速を出て、自動車道入口へ向かう途中、交通事故が発生し、それを避けるための車が数台停車していた。そこに、後部からトラックが突っ込み6台が衝突。車内に閉じ込められ、車が炎上し死亡した。	231	17	50 ～ 99
2016	12	14 ～ 15	被災者は営業職であり、軽ワゴン車を運転して客先へ向かって走行中、対向してきた大型トラックと正面衝突し、死亡した。現場は、片側1車線の直線道路であった。	231	17	10 ～ 29
2016	10	15 ～ 16	リフォーム営業販売職である被災者が、顧客宅から次の顧客宅へ向かって、社用車（軽自動車）にて走行中、対向車と正面衝突した。	231	17	10 ～ 29
2016	10	23 ～ 24	被災者は21時頃に事業場から帰宅し、22時頃に就寝した。23時頃、胸が突然痛み、息ができない状態となったため、家族が救急車を呼び、被災者は病院に搬送されたが、その後致死性不整脈により死亡した。	921	90	50 ～ 99
2016	8	19 ～ 20	高さ1.4メートルの脚立上で商品を補充後、脚立を降りていたところ、バランスを崩して床面に転落した。右大腿骨骨折で入院していたが、肺血栓・肺塞栓で死亡した。	371	1	1～ 9
2016	8	19 ～ 20	発生場所交差点にて、県道を北進してきたピザ配達中の被災者が原動機付自転車にて右折（東進）待ちしていたところ、後方から北進してきた乗用車に追突され、その弾みで対向車線に出たところ、対向車線の乗用車にひかれ、骨盤骨折による出血多量で死亡した。	231	17	1～ 9
2016	8	11 ～ 12	作業場構内において、ガス溶断器を使用し、ドラム缶の天板を溶断しようとしたところ、当該ドラム缶が爆発し、被災した。	512	14	1～ 9
2016	7	10 ～ 11	フォークリフトを移送するためトラックに積み込む作業中、フォークを3.8mの高さに上げ、後進で道板を登っていたフォークリフトがバランスを崩して横転し、道板から転落する際にフォークリフトを運転していた被災者が投げ出され、その下敷きとなった。	222	2	1～ 9
		15	被災者が事業場倉庫内で、ガラスが積載された鉄製パレット（重量：ガラ			1～

2016	6	～	ス 6 3 3 k g パレット 1 0 0 k g 計 7 3 3 k g。パレット寸法：縦 1. 9 m 横 2. 9 m 幅 0. 6 5 m) が倒れ、作業台との間に挟まれ被災した。	611	5	9
2016	5	12 ～ 13	災害が発生した地区に常駐する社員として稲作の技術指導を行っていた被災者は、8 時 3 0 分頃から 1 2 時 3 0 分頃まで別事業場の農機具販売店の担当者とともに災害発生現場付近の水田で農家に対する肥料の使用方法等の指導を行い、用務終了後に担当者と別れてから連絡がとれなくなっていたが、翌日に用水路（幅 4 0 c m、深さ 4 0 c m、水深約 1 5 c m）で倒れているところを発見された。	418	10	10 ～ 29
2016	4	8 ～ 9	被災者は、1 階から 2 階に上昇していたエレベーターが途中で停止したため、エレベーターの動力を切り、2 階の昇降路の扉を開け、上半身だけ搬器に入り、停止した原因である積み荷の引っ掛かりを取り外していたところ、搬器が落下したため、搬器の天井と 2 階の床先との間にはさまれた。	214	7	30 ～ 49
2016	2	15 ～ 16	調剤薬局に、帰宅途中の警備員が運転する乗用車が店舗入口から店内に突っ込み、壁を突き破って店外まで突破し、この際、店内で勤務中だった 4 名が被災し、内 1 名が死亡した。	231	6	1～ 9
2016	1	6 ～ 7	朝、トイレに行き、その場で倒れこんでいる被災者を妻が発見した。	921	90	10 ～ 29
2017	10	10 ～ 11	倉庫内において、商品の棚卸し作業中、脚立にて商品棚の上部を確認後、後ろ向きで降りている際に転落し、後頭部を打った。	371	1	1～ 9
2017	10	8 ～ 9	カキ筏の運搬作業を終えて、漁船で戻る際、被災者が海に転落した。	239	7	1～ 9
2017	8	12 ～ 13	弁当店の厨房で火災が発生し、働いていたアルバイト店員が被災し、死亡した。死因は C O 中毒。被災者はフライヤーで調理中、トイレに入ったところ、トイレの扉の前に米袋が倒れ、トイレに閉じ込められた。その間、フライヤーが過熱し発火したものと考えられる。	391	16	1～ 9

2017	8	14 ～ 15	被災者は、店内で商品の運搬作業を行っていたところ、急性心筋梗塞を発症し倒れているところを発見された。	921	90	50 ～ 99
2017	7	4 ～ 5	発症前6ヶ月の長時間労働による疲労の蓄積により、自宅において心疾患を発症し死亡した。	921	90	10 ～ 29
2017	6	8 ～ 9	路上で割腹自殺をした。	921	90	10 ～ 29
2017	5	10 ～ 11	過重労働による心疾患。被災者は取引先へ社有車で向かう途中であったところ、スーパーマーケット駐車場にて死亡しているところを発見され、虚血性心疾患の疑いと診断された。発症前2ないし6か月間にわたって概ね80時間を超える時間外労働を行っていた。	921	90	30 ～ 49
2017	5	12 ～ 13	出張作業。主要取引先のイベントが終了し、後片付け後、被災者は貨物自動車の荷台のテールゲート端の支柱に腰掛けるように乗車していた。貨物自動車が左カーブに接した際、アスファルト舗装された外周道路に落下し頭部を打撲した。	221	1	1～ 9
2017	5	12 ～ 13	事業場敷地内の駐車場において、被災者が当日の勤務を終え帰宅するため、自家用車の駐車場所に向かっていたところ、荷物搬入口に駐車しようとしていたトラックにはねられた。	221	17	100 ～ 299
2017	5	10 ～ 11	被災者は老人ホームの外壁に通路用の照明を取り付ける準備を行っていた。同ホームの園長が作業内容を確認するため、当該作業場所に行ったところ、被災者が砂利の地面に倒れていた。被災者は救急搬送されたが、死亡した。	371	1	1～ 9
2017	5	12 ～ 13	終業後、被災者は事業場内の階段踊り場に設置されているタイムレコーダーに打刻するため、階段を上っていたところ、階段から転落した。被災者は頭部を負傷し、1階の床で倒れていたところを発見され病院に搬送さ	413	1	1～ 9

			れたが、死亡が確認された。			
2017	5	12 ～ 13	過重労働が原因でくも膜下出血を発症し、翌日死亡した。	921	90	1～ 9
2017	4	14 ～ 15	海外出張から帰国のため、取引先の車に同乗し空港に向かう途中、同乗していた乗用車左前部が、停車中の大型作業車右後部に追突し、大型作業車の突起物が乗用車後部座席左側に乗車していた被災者頭部にあたり脳挫傷により死亡した。	231	17	10 ～ 29
2017	3	10 ～ 11	海上で、同僚とわかめ漁をしていた際、風、波に船があおられ転覆し、海上に投げ出され、心配停止となり１０時２５分頃、僚船により収容されたが、病院で死亡が確認された。	713	10	1～ 9
2017	3	10 ～ 11	海上で、同僚とわかめ漁を行っていた際、風、波により船があおられ転覆し、海上に投げ出された。同僚は僚船に収容されたが死亡が確認され、被災者は現在も行方不明となっているが、後日死亡認定された。	713	10	1～ 9
2017	3	14 ～ 15	牧草ロールを崩してブロック状に成形する作業において、被災者は作業台（長さ６ｍ、幅２．５ｍ、高さ１．３ｍ）の上で牧草ロールを崩して傍のベルトコンベヤーに落とす作業に従事していたが牧草ロールに不良（カビ）を認めたことから、同僚がトラクター・ショベルで別の牧草ロールに交換しようとしていたところ、コンベヤーの先にあるブロック状に成形する機械が停止し、当該機械に頭部が挟まれているのを発見された。	169	7	1～ 9
2017	3	16 ～ 17	当該事業場は、農業機械の販売を事業としているが、顧客が耕うん機を運転して来店し、ロータリーと呼ばれるアタッチメントの試着を希望したため、当該事業場の労働者であった被災者が当該耕うん機に既に装着されていた「土運び」と呼ばれるアタッチメントを取り外す作業を顧客および他の労働者１名とともに行ったところ、うまく外れないため、耕うん機と土運びの間に侵入した際、耕うん機が後進し、これに轢かれた。	229	6	1～ 9
2017	3	18 ～	遊技機の営業担当であった被災者が、恒常的な長時間労働、深夜労働、休日出勤などにより、事業場事務所で大動脈解離を発症、搬送先の病院で死	921	90	30 ～

		19	亡した。			49
2017	2	18 ～ 19	店舗内において、被災者がソファ約20脚を、エレベータに載せ、2階に搬入する作業を行っていた。最初に4つのソファを1階でエレベータに積み込み、2階でソファを3脚下ろし、4脚目のソファを下ろす際、1階の搬入口側の搬器の開口から約5m下の床面に被災者が墜落して死亡した。	214	1	10 ～ 29
2017	2	8 ～ 9	自家用車にて乳製品の宅配業務中、信号の無い交差点を脇道側から直進していたところ、左から優先道路を直進してきた乗用車と衝突し負傷した。被災者は、入院療養中であつたが、交通外傷に起因した脳梗塞により、死亡した。	231	17	1～ 9
2017	2	16 ～ 17	被災者は同僚と2人で重量約2tの板ガラス専用パレットを天井クレーンで4tトラックに積み込み作業中、トラック荷台中央部のパレット固定用スタンションに沿わせて、スリングベルトのアイをスタンションのT型固定部に引っかけて固定し、玉掛け用スリングベルトを外したところ、T型固定部の溶接部が破断してパレットが被災者の方に倒れ、被災者はパレット共荷台から墜落し、地面とパレットの間に頭を挟まれ、死亡した。	611	5	30 ～ 49
2017	2	14 ～ 15	登山道の標高1750～1800m付近の調査地点で同僚と2名で積雪調査を実施後、登山道を下山中、標高1750m付近（積雪数cm）においてバランスを崩し、斜面の露岩地へ転落した。転落の約4時間後に消防防災ヘリにより救助されたが、搬送先の病院にて死亡が確認された。	231	17	1～ 9
2017	2	22 ～ 23	スーパーマーケットの惣菜を作るための厨房において、グリーストラップ（油水分離阻集器）の清掃作業を行っていた被災者が、同グリーストラップに上半身を入れ逆さまになった状態で同僚に発見された。	713	10	100 ～ 299
2017	2	18 ～ 19	被災者が休憩している際に、暖房のため室内に設置された電気ストーブと接触したところ、着衣に火が燃え移り、全身に熱傷を負った。負傷後治療を受けていたが、容体が急変し死亡した。	391	11	1～ 9
		4	早朝の出勤途中、駅前バスロータリーのベンチ付近で被災者が倒れている			30

2017	1	～ 5	ところを通行人に発見された（急性心機能不全）。発症前の時間外労働時間は、発症2か月前を除き、いずれも100時間を超えており、直近1か月は113時間32分であった。	921	90	～ 49
2017	1	～ 9	配達業務を終え事業所に戻るため、被災者は1名で軽貨物車を運転していたところ、上り坂の左カーブにさしかかったところで中央線を越えて、対向車の中型トラックと衝突した。	231	17	～ 29
2017	1	～ 5	被災者は店舗の統括者であったが、その業務はアルバイトのシフト管理や商品管理をはじめ、営業時間に制約がある中で自ら売場に立ち接客業務にも従事していた。発症前2ヶ月間では月の平均時間外労働が100時間を超えるに至り、朝方の出勤途中において、駅構内で突然倒れ、病院に搬送されたが、急性心筋梗塞にて死亡した。	921	90	1～ 9
2017	1	～ 17	工業内に設置された焼却炉の解体撤去工事において、養生に使用する防災シートを張る作業を行っていた被災者が、作業場所の屋根の端部に仮置きされた防災シートを取りにいくために屋根に上り、置き場に向かう途中、屋根の採光部分（FRP製）を通過してしまい、踏み抜き、10メートル下に墜落した。	231	17	～ 49
2017	1	～ 21	被災者は、50ccの二輪バイクでピザの配達を終えて店に帰る途中、見通しの良い片側1車線の直線道路を北進していたところ、道路の左側にある飲食店の駐車場から出てきた乗用車と衝突、弾みで反対車線に投げ出され、対向してきた乗用車にはねられた。	231	17	～ 29
2017	1	～ 21	被災者は営業統括部長として複数の営業所の管理業務を担当しており、事務所で勤務中、机に手をつきながら倒れこんだ。病院に救急搬送され、入院加療中であったが、「大動脈解離」「脳梗塞」により死亡した。発症前3か月間の時間外労働時間は平均115時間30分であった。	921	90	1～ 9
2018	12	～ 13	被災者は、ワゴン車で国道の緩やかな左カーブを走行中、対向車線にはみ出し、車両が横向きになったところ、直進してきた対向車のタンクローリーが車両助手席側に追突した。被災者は病院に搬送されたが、頭部出血、骨盤骨折、心臓動脈乖離による多臓器不全のため、後日死亡した。	231	17	～ 49

2018	11	20 ～ 21	バイクで商品を配達中、片側3車線の右折レーンから右折をした際、対向片側2車線の第2レーンを直進してきた自動二輪車（400CC）と衝突した。被災者は右側に7メートルほど弾かれて転倒した。病院に搬送後、動脈破裂により死亡した。	231	17	10 ～ 29
2018	9	12 ～ 13	商品配送中、トラックを路肩に止め荷台上の片付け等をしていたところ、道路の勾配でトラックが前進しはじめたため運転席側のドアを開け乗り込もうとした際（目撃者がいないため推定）、運転席側の前輪及び後輪が側溝に落ちて車体が傾き、ドアの外表面が側溝横の擁壁に接し、被災者の上半身が車体（運転席）とドア内面の間に挟まったもの。下半身は車外に出た状態であった。	221	17	30 ～ 49
2018	9	20 ～ 21	被災者は勤務終了後に店舗（当該事業場）のゴミ袋が不足していたため、系列の他店舗に被災者所有のバイクで取りに向かい、交差点を直進したところ乗用車と衝突したもの。	231	17	10 ～ 29
2018	9	12 ～ 13	被災者が路上に落下した屋根（金属製折板）の撤去作業中に台風の風により後ろ向きに転倒し、後頭部を打って被災したもの。	719	2	10 ～ 29
2018	9	12 ～ 13	被災者はライトバンを運転して、県道を走行中、右折するにあたり、赤信号であったのに停止線で停止せず、車線を横切ろうとしたところ、走行中の32トンキャリアカーと衝突し、死亡したもの。32トンキャリアカーの運転手に怪我は無かった。	231	17	1～ 9
2018	8	22 ～ 23	商業施設主催のイベント会場において、露店で飲食物の販売に伴う接客業務に従事していた被災者が、片付け作業を行っていた際に意識を失ったもの。その後救急車で病院に搬送されたが、同日、死亡（熱中症）が確認されたもの。	715	11	1～ 9
2018	7	12 ～ 13	被災者は客先の牧場敷地内において自走できる給餌機を修理後、牛舎に戻すため給餌機を運転して敷地内道路を移動していたところ、バケットを上昇させたまま走行してきたトラクター・ショベルに激突され、給餌機の機械操作レバーに頭部が刺さり死亡したもの。なお、トラクター・ショベル	141	6	10 ～ 29

			の運転者は牧場事業主の親族であった。			
2018	7	18 ～ 19	被災者は、有料老人ホームの建物外部南西にあるグリーストラップ（幅1000mm×奥行き550mm×深さ約1400mm）の清掃を行っていたところ、何らかの原因で、グリーストラップ内に溜まっていた深さ約400mmの汚水に頭から転落し、溺死したものの。	418	10	1～ 9
2018	5	14 ～ 15	顧客からの注文に応じて、事業場内に保管されている衣料品を脚立にのって取り出す作業をしていた被災者がうめき声をあげて床に倒れているのを発見し、病院へ緊急搬送し、治療を受けていたが14日後に死亡した。	371	1	10 ～ 29
2018	5	14 ～ 15	屋内階段（3階と4階の間）を通行していたところ、転落し、踊り場に頭部を打ち付け、後日死亡したものの。	413	1	300 ～ 499
2018	4	8 ～ 9	被災者が一人で坂になっている道路に停めていたユニック車のクレーンのブームを伸ばしていたところエンストしたため、エンジンをかけた。その後しばらく経っても被災者の姿が見えなかったため、他の労働者が土手の下を見たところ、約10メートル下で俯せで倒れていた。道路から土手へ転落し、頭部等を強打したしたと思われ、救急車を呼び病院に搬送後、死亡した。	212	1	10 ～ 29
2018	4	0 ～ 1	被災者の自宅にて就寝中に心停止（心臓性突然死）により死亡したものの。発症前2か月平均においておおむね80時間の時間外労働が認められ、著しい疲労の蓄積をもたらす特に過重な業務に就労していた。	921	90	30 ～ 49
2018	2	10 ～ 11	弁当用のパック、箸等が保管されている2階建ての物置場において、被災者は2階（1階床面から2階床面の高さ2.015m）に置かれた弁当用のパックを取りに行くため、積載荷重100kgのポーリフトの搬器に乗り、1階から2階へ上昇していく途中で、搬器の手すりとは2階床面開口部の縁との間に胸部を挟まれ、外傷性下行大動脈損傷により死亡したものの。	214	7	10 ～ 29
2018	2	8 ～	被災者及び労働者1名が小売店に応援勤務のため、被災者が運転する自動車移動中、左カーブを曲がり切れずに中央分離帯に衝突し、2名とも死	231	17	10 ～

		9	亡したもの。			29
2018	2	8 ～ 9	被災者及び労働者1名が小売店に応援勤務のため、被災者が運転する自動車で移動中、左カーブを曲がり切れずに中央分離帯に衝突し、2名とも死亡したもの。	231	17	10 ～ 29
2018	2	8 ～ 9	顧客より依頼のあった玄関戸の建付け修理作業を終えた被災者が、自分が運転していた軽トラックを県道上に停車していたところ、後方から時速60キロで走行してきた2トントラックに追突され、軽トラックごと県道脇の法面を転落して死亡したものである。	221	17	1～ 9
2018	1	14 ～ 15	被災者は、軽自動車（社有車）を運転し個人宅での訪問営業を終え、次の訪問先に向かうため、停車場線を走行中、対向車の乗用車が対向車線をはみ出し、正面衝突したもの。この事故で軽自動車を運転していた被災者が死亡、対向車の運転手は軽傷を負った。現場は、片側1車線の緩い右カーブで、事故当時、路面は凍結していた。	231	17	1～ 9
2018	1	8 ～ 9	建物の1階床で倒れているのを後から出勤してきたものが発見したもの。司法解剖の結果、外傷性くも膜下出血、後頭骨骨折が死亡原因であった。目撃者はいない。建物の2階部分に事務所があり、扉の開錠が行われていたので、被災者は出勤後、2階に上がったあと階段を転落したものと推定される。	413	1	1～ 9
2019	11	16 ～ 18	当日、支社で行う研修に参加した後、自宅に帰宅するため自家用車で自動車道を走行中、路面凍結によりスリップし左側ガードロープに衝突し、その弾みで片側2車線の中央に停止したところ、後方より走行してきた大型観光バスに追突され、助手席の被災者は死亡、運転者が重傷を負ったものの。	231	17	10 ～ 29
2019	11	14 ～ 16	被災者は、事務所の観測所の定期の保守点検を行うため、同僚2名と川沿いを徒歩で1列縦隊となって移動していた。そして、観測所のある左岸側の沢まで到達し、その沢を先に同僚2名が登りきり、最後に被災者がそこを登っていたところ、沢が崩壊し、落下してきた岩（大きさ約1m～2mで2個と推定）に体を挟まれたもの。	711	5	30 ～ 49

2019	11	10 ～ 12	被災者は倉庫内に保管されている敷料（厩舎内に敷く草）をフォークリフトを用いて2トントラックに積み込む際、資材掴み用アタッチメント（カスケード）を最大揚程に上げたまま勾配6°の斜面を後進している時にフォークリフトと共に転倒した。転倒後、ヘッドガードの下敷きになり身動きが取れない状態で燃料タンクからガソリンが漏れ被災者に引火したものの。	222	2	10 ～ 29
2019	5	18 ～ 20	事業場から原動機付自転車で配達先に向かう途中、信号のない十字路交差点を直進する際、右方より走行してきた普通乗用車と衝突し負傷したものの。被災者は、病院にて入院療養中であったが、後日交通外傷に起因した敗血症により、死亡した。	231	17	10 ～ 29
2019	5	0 ～ 2	被災者は同僚が運転するトラックの助手席に乗り、自動車道の上り車線の走行車線を走行していたところ、何らかの原因により前方を走行中の大型トレーラーの後方に追突し、頭部などを強く打ち、同日外傷性ショックにより死亡したものの。	221	17	1～ 9
2019	4	12 ～ 14	古紙の圧迫梱包機械（ベラー機）で作業中、ベラー機への投入口にベルトコンベアから送られた段ボールが詰まったため、除去等しようとした際に投入口に転落し、プレス機部分まで落下、プレス機が作動して腰部分で上半身と下半身が切断されたものと推察される。	169	1	10 ～ 29
2019	4	18 ～ 20	ピザの配達後、原付自転車で帰社する途中の交差点において、自動車と出会い頭に衝突し、死亡した。交通事故が発生した交差点は、市道が交差する信号機の無い交差点で、被災労働者は優先道路を東進、相手側は南進、交差点の北西角の民家の外周のブロック塀で見通しが悪かった。	231	17	10 ～ 29
2019	4	18 ～ 20	事業場のフランチャイズ店。被災者は原動機付自転車を運転して配達し、その帰路、信号機の無い交差点に直進進入した際、同交差点右方から直進進入してきた軽自動車に衝突され即死した。	231	17	1～ 9
2019	3	6 ～	牧草等と配合飼料を粉碎・混合し家畜飼料を製造するためのトラクターを動力源とした移動式のミキサー車で、被災者はミキサーから製造し終えた飼料の取り出しを行い、その後の運搬作業を別の作業者に引継いだ。引継	162	7	1～

		8	いだ作業者が残存した飼料があったためミキサーを駆動させたところ、ミキサー内部にいた被災者がスクリュウに巻き込まれて死亡したもの。			9
2019	2	16 ～ 18	業務終了後、1階から2階にある更衣室へ向かう途中、階段の踊り場から転落したもの。	413	1	50 ～ 99
2019	2	12 ～ 14	被災者は、最低高さ3.57メートルの自社倉庫の屋根の上において、専務とともに2名で除雪作業に従事していたが、災害の発生時分に、除雪作業をしていた屋根の下で雪に埋まった状態で、専務により発見された。傍らには転位した移動式はしごがあった。被災者が作業していた屋根の一部には落雪の痕跡が認められたが、被災者が発見された場所は、落雪の痕跡がある屋根の下方であった。	415	1	1～ 9
2019	1	14 ～ 16	製作所内において、被災者が高さ約10mの自動倉庫内部でメンテナンス作業をしていた。自動倉庫の天板が、別作業中の天井クレーンのガーダと接触したため、クレーンが停止した。被災者は接触した天板を自動倉庫内から搬出した。その後、クレーンの運転を再開したところ、被災者がクレーンガーダと自動倉庫に挟まれ被災したもの。	211	7	30 ～ 49
2020	12	10 ～ 12	事業場の地下から地上へ続く階段を上っていたところ墜落し、階段のステップ付近に頭頂部を衝突させたもの。	413	1	1～ 9
2020	11	16 ～ 18	産業廃棄物の処理を行う建屋内において、解体用つかみ機を用いて産業廃棄物の破砕作業等をしていたところ、同機械のキャタピラの進行方向付近で人力により鉄くずの運搬等を行っていた被災者がひかれ、死亡したものである。	145	7	1～ 9
2020	11	14 ～ 16	被災者はトラクター・ショベルのバケット及びリフトアームを稼働させる各シリンダの油圧ホースの交換を行っていた。左右にあるリフトシリンダの油圧ホースを交換した後、ダンプシリンダの油圧ホースを交換するため、車両前面の点検口より油圧ホースの取り外しを行っていた際に、リフ	141	7	1～ 9

			トアームが下降し、リフトアームと車両本体との間に上半身をはさまれたもの。			
2020	10	14 ～ 16	家庭用医薬品の販売員である被災者が軽自動車で行中、運転を誤りセンターラインをはみ出した結果、対向車と正面衝突した。	231	17	1～ 9
2020	8	10 ～ 12	被災者は、事業場から出張先の養鶏場までトラック（最大積載量3250kg）を1人で運転した後、養鶏場内において、トラックからおが屑を降ろす作業を行っていたところ、体調の不良を訴え、休憩を取りながら、養鶏場の代表と共に作業を終えた。その後、出張先の養鶏場から事業場に帰るため、1人でトラックに乗った後、午前11時35分、トラックの中で倒れていたところを養鶏場の代表から発見された。	715	11	1～ 9
2020	8	4 ～ 6	被災者は、客先の塗装工場内に設置された粕池（塗装ブースで発生した余剰塗料及び水等の廃液を薬液処理する鋼製タンク）の上部において、粕池内で発生する廃液の泡立ち状況を確認する作業に従事していたところ、何らかの原因で点検口（縦60cm×横60cm）から深さ約3.3mの粕池内に墜落し、粕池内に沈んでいるところを発見された。	391	10	1～ 9
2020	7	14 ～ 16	被災者は災害発生場所のバックヤードで荷物の検品作業に従事しており、バックヤードから廃棄用の梱包資材（包装紙、新聞紙、ビニール等）が入った段ボール箱を屋外の集積所に移動させようとプラットフォームへ後ろ向きで、両手で引いたところ両手が段ボール箱から滑り抜け、その勢いでプラットフォーム上（奥行1.62m）で転倒して、そのまま高低差0.6mのアスファルトの地面上に頭部から墜落し、7日後に死亡。	416	1	50 ～ 99
2020	6	0 ～ 2	商品仕入れのため、市場に出向いており、場内の駐車場からせり場に向かうため、横断歩道を歩行していたところ、スロープを下って左折をしてきたトラックに左方向から衝突され、右方向に4～5メートル跳ね飛ばされたもの。その際に頭部をひどく打ち付け負傷（両側急性硬膜下血腫、脳挫傷他）。	221	6	30 ～ 49
			事業場から自社営業所に出張のため、被災者1名が乗車運転する営業車			

2020	6	12 ～ 14	(ライトバン)が高速道路下り線の追い越し車線を走行中、蛇行を始め、中央分離帯の法面に乗り上げて道路に裏返ったところに、後続の乗用車(負傷者なし)が衝突した。被災者は脊髄損傷、頸椎骨折及び頭部打撲等を負い、救急搬送先の病院において、約2日後に死亡した。	231	17	30 ～ 49
2020	6	8 ～ 10	事業場所有の自動車を運転し依頼者のもとへ食材を配達後、別の依頼者のもとへ食材を配達するために自動車に向かっていたところ、自動車が民家の壁に衝突し、上半身と下半身を打撲したことにより、搬送先の病院で死亡したもの。	231	17	100 ～ 299
2020	6	16 ～ 18	2階建ての住宅の屋根の上において、エア・コンディショナー(エアコン)の室外機等の取付作業を行っていたところ、足を滑らせて屋根から約3.1m下の地面に墜落したもの。	415	1	1～ 9
2020	3	14 ～ 16	自動二輪車のオフロードサーキット場のコースで被災者所属の販売店の顧客にオフロードバイクの運転の講習をしていたところ、講師としてデモンストレーションのジャンプを行った際、当該ジャンプの着地ミスにより、右胸を強打し、死亡した。	231	3	1～ 9
2020	2	10 ～ 12	被災者は営業活動のため外勤作業中、社有車を運転し、営業先に向かう途中の下りの左カーブを走行していたところ、対向車線を走行していた大型トラックと衝突し、被災者は頭を強く打ち死亡した。なお、事故当時路面は凍結していた。また、お互い単独で運転しており、大型トラックの運転手に怪我はなかった。	231	17	30 ～ 49
2020	2	8 ～ 10	鮮魚の販売等の業務に従事する被災者が、業務終了後、保冷車を運転し、本社に戻る途中、保冷車とともに岸壁から海へ転落したもの。	221	17	1～ 9
2020	2	18 ～ 20	バイクで走行し、交差点を右折中、直進してきた相手方バイクと接触したもの。12日後に死亡した。	231	17	1～ 9
2020	2	0 ～	新型コロナウイルス感染症により死亡したもの。	911	90	1～

		2				9
2020	2	10 ～ 12	直売所で販売する商品を仕入れるため、スーパーに出掛けた際、同スーパーの駐車場において車から店舗に向かう途中に店舗入口付近で倒れ、病院に救急搬送されたものの、後日脳幹出血により死亡したもの。	921	90	1～ 9
2020	1	10 ～ 12	被災者は調理中に腰痛を訴えその後嘔吐した。病院に救急搬送搬送されたが、同日午後に死亡が確認された。死因は腹部大動脈瘤破裂であった。	921	90	1～ 9
2020	1	10 ～ 12	幼稚園に納品のため、幼稚園上方にある道路に車を停めて商品を台車に乗せ、幼稚園南側に隣接する階段を後ろ向きで下りている途中、階段の斜路部分より転落したもの。病院へ緊急搬送されたが脳出血により死亡した。	413	1	1～ 9
2020	1	10 ～ 12	銀行へ両替のために自転車で向かう途中、交差点で信号待ちをしていたころ交差点角の輸入車販売店から出てきた展示車に自転車ごと轢かれたものの。	231	17	1～ 9
2020	1	4 ～ 6	パート従業員2名が、店舗内の一般駐車場に車を止め、歩いて店舗事務所へ向かう途中、従業員用駐車場付近を歩いていたところ、当該駐車場に止めようとした別の車に2名とも轢かれたもの。1名が死亡し、1名は休業災害となった。	231	6	100 ～ 299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_03.htmlに戻る。